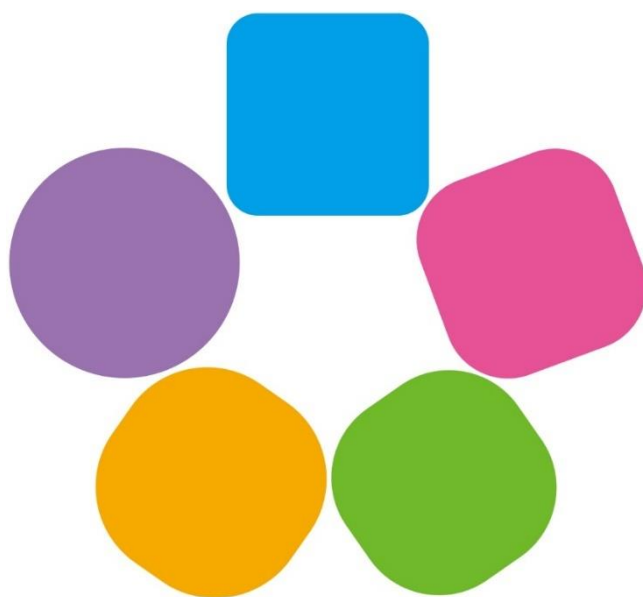


令和5年度
愛南町行政評価結果反映状況報告書



令和6年3月
愛南町

1 行政評価の概要

愛南町総合計画（以下「総合計画」という。）における政策、施策について、各所属が行う内部評価及び町長の附属機関である愛南町行政評価委員会による外部評価を実施し、その評価結果（有効性、効率性、必要性）を行政運営に反映する仕組みです。

2 評価区分別の反映状況

(1) 内部評価

① 評価の対象

第3次愛南町総合計画に掲げる5つの政策、23の施策、97の基本事業を対象としました。

政策	施策	基本事業
支えあい健やかに暮らせるまちづくり	5 施策	24 事業
豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	4 施策	14 事業
活力ある産業を育てるまちづくり	5 施策	20 事業
自立と協働による安心安全なまちづくり	5 施策	24 事業
豊かな心と文化を育むためのひとづくり	4 施策	15 事業
5 政策	23 施策	97 事業

② 評価の方法

総合計画策定時に設定したまちづくりの成果を測る指標（以下「成果指標」という。）の目標値と現状値の比較について、4つの評価（「達成（成果指標目標値超）」、「高（成果指標目標値達成率75%以上）」、「中（成果指標目標値達成率50%以上）」、「低（成果指標目標値達成率50%未満）」）に区分し、併せて成果指標値動向の要因を分析して、「施策・基本事業管理シート」を作成しました。また、これに基づき、施策（23 施策／47 成果指標）及び基本事業（97 基本事業／219 成果指標）の成果指標動向を加えて、政策（5 政策）を評価して、総合計画の進行管理を「まちづくり報告書」としてまとめ公表します。

【添付1】 令和5年度まちづくり報告書～愛南町総合計画の進行管理～
令和4年度成果実績

③ 評価結果の反映

作成した「施策・基本事業管理シート」を基に施策主管課及び関係課により今後の取組を検討し、事業に反映します。

(2) 外部評価

① 評価の対象

町長が委員会へ諮問した事務事業（令和4年度実施事務事業）を対象としました。なお、全ての内部評価についても委員会において、確認して頂いています。

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	次世代につながる子ども・子育て支援の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業		放課後児童クラブ事業
			放課後図書クラブ事業
	担当課		保健福祉課
	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	生涯学習の充実
	基本計画	基本事業	青少年の健全育成
	事務事業		放課後子ども教室事業
担当課		生涯学習課	
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	循環型社会の形成
	基本計画	基本事業	ごみ処理体制の適正化
	事務事業		海岸漂着物等地域対策推進事業
担当課		環境衛生課	
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	雇用・人材確保の推進
	基本計画	基本事業	雇用の促進
	事務事業		就職支援センター運営事業
担当課		商工観光課	
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	効果的・効率的な行財政運営の推進
	基本計画	基本事業	I C Tによる情報の適切な管理と利活用
	事務事業		地域情報通信基盤設備管理事業
担当課		総務課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	学校教育の充実
	基本計画	基本事業	施策の総合推進
	事務事業		南宇和高等学校教育振興協議会補助事業
担当課		学校教育課	

② 評価の方法

委員会では、事務事業担当課へのヒアリングを含めた計3回の審議を行い、評価を決定し、町長へ答申しました。

【添付2】 令和5年度行政評価諮問事務事業に係る答申書

③ 評価結果の反映

委員会の答申を受け、当該答申反映の方向性を町長から事務事業担当課へ指示し、今後の事務事業に反映します。

【添付3】 令和5年度行政評価（令和4年度実施事務事業）答申反映の方向性（町長の評価（愛南町行政評価条例（平成18年条例第4号）第5条評価））

令和5年度

まちづくり報告書

～ 愛南町総合計画の進行管理 ～

令和4年度成果実績



愛南町

目 次

1	まちづくり報告書の基本的な考え方	1
	(1) まちづくり報告書とは.....	1
	(2) 総合計画と行政評価.....	1
	(3) 行政評価による総合計画の進行管理.....	2
	(4) 3つの視点で総合計画を進行管理.....	3
	(5) 報告にあたって.....	3
2	まちづくりの進展度（対基準値）	4
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）.....	4
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）.....	4
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標）.....	5
3	前期基本計画の目標達成状況（目標達成度）	6
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）.....	6
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）.....	6
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標）.....	7
4	まちづくりの分野別進行状況	8

1 まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) まちづくり報告書とは

愛南町総合計画は、町の政策を定める最上位の計画であり、町民、事業者及び行政がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となるものです（愛南町自治基本条例第24条）。

愛南町が2004（平成16）年に誕生し、その間に本町を取り巻く社会情勢は大きく変化しました。人口減少社会や多様化する行政ニーズに対応していくことが求められます。

そのため、合併時に策定した第1次愛南町総合計画の成果状況を踏まえて、平成26年3月に第2次愛南町総合計画を策定し、令和3年度末で計画期間が終了し、令和4年度から、第3次愛南町総合計画がスタートいたしました。

本町の総合計画では、分野別にまちづくりの目標となる、町のめざす姿と成果指標を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの分野でどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、町のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を町民の皆さんにお知らせするものです。本書は、第3次愛南町総合計画の令和4年度の成果実績について報告いたします。

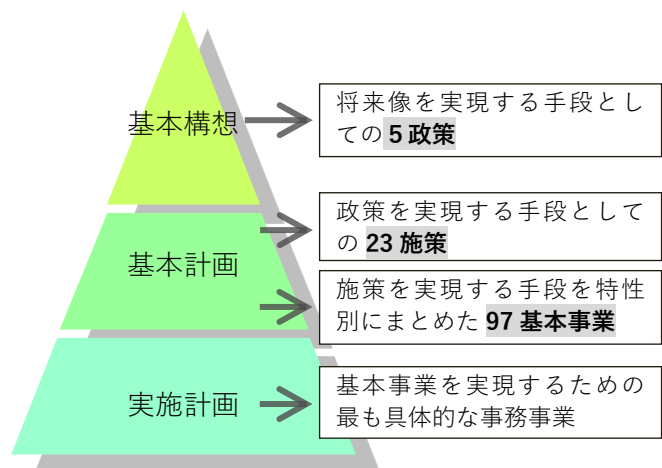


(2) 総合計画と行政評価

第3次愛南町総合計画では、将来像を「ともに彩（いろどり）を育（はぐく）むまち いろこい あいなん」と定め、この将来像を実現するための5つの政策、政策の下には23の施策、97の基本事業を掲げています。

さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置づけられ、施策体系を構成します。

また、愛南町では町民の視点に立った行政経営に取組み、限られた行政資源で成果重視の行政をめざし、行政評価を導入し、将来像の実現に向けた取組の進捗状況を管理しています。

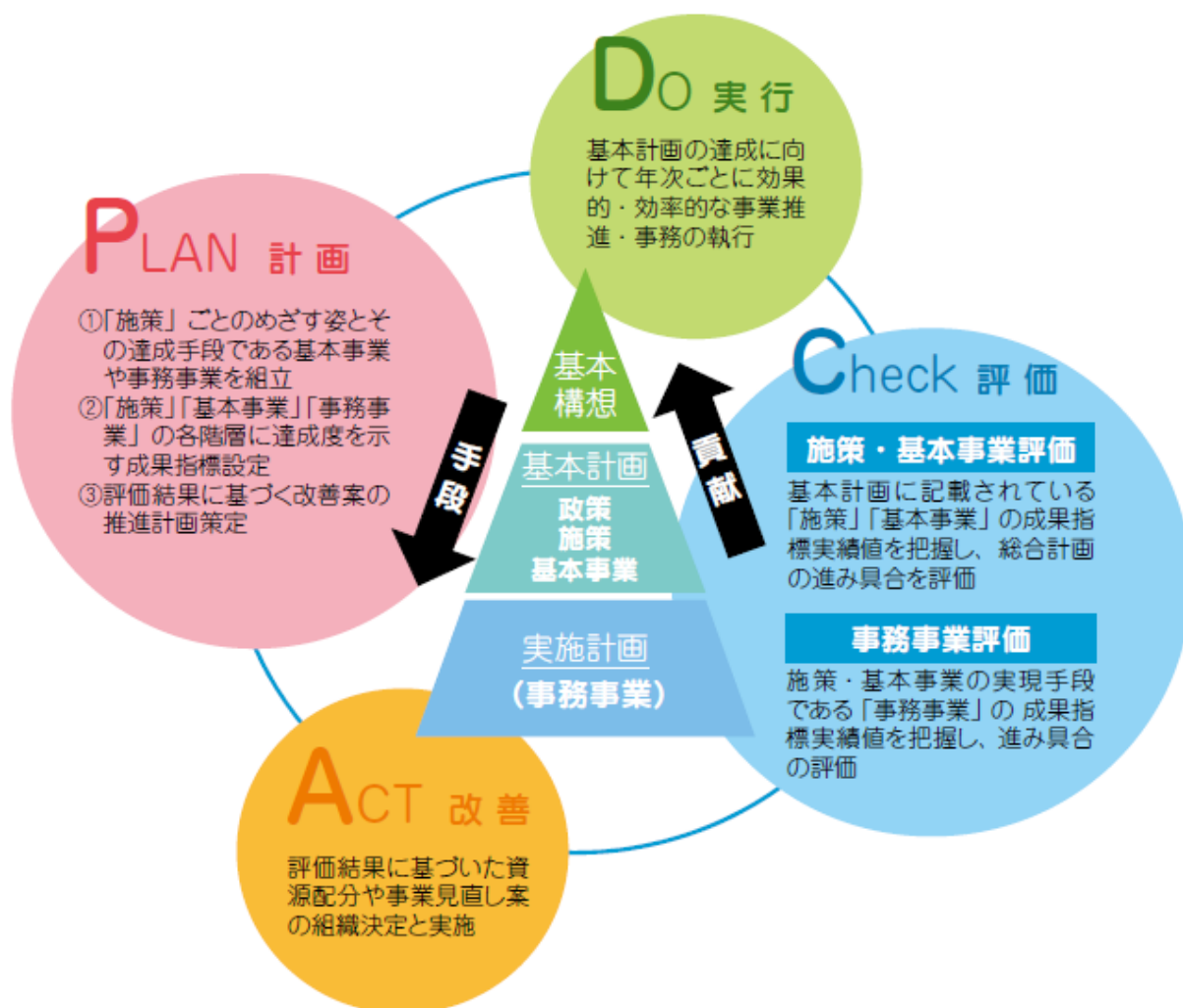


(3) 行政評価による総合計画の進行管理

愛南町では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわす「ものさし」として成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、まちづくりを進めていく上での意思決定の判断材料や税金活用の説明責任資料として活用し、計画の策定 (Plan)、計画の実施 (Do)、計画の評価 (Check)、評価結果に基づく改善 (Act) というPDCAのマネジメントサイクルをまわして、行政経営の質を向上させるものです。

行政経営サイクル (PDCAサイクル)



(4) 3つの視点で総合計画を進行管理

総合計画は、民間企業における中期経営計画のような位置づけとなります。

民間企業の中期経営計画では、目標達成度にもみ焦点があたっています。

しかし、地方自治体の総合計画は、住民意識・行動や法改正の影響、地勢（所在地）など民間企業ほど主体的に変化させづらい要素があります。また、イベント等は天候により参加者数が大きく増減する等の影響を受けることもあります。

そのため、愛南町の総合計画進行管理では、以下の3つの視点で多角的に評価します。

視 点	評価基準
対基準値	まちづくりの進展度を評価する(どの程度計画開始前より良くなったか) ★第3次総合計画開始時点の基準値と比較する
対前年度	昨年度との差異を評価する(天候などの影響で上下することもあり、一喜一憂に留意) ★昨年度指標値と比較する
目標達成度	第3次総合計画の目標値の達成状況の評価する(中期的な計画の達成度を評価) ★第3次総合計画の前期目標値(R7年度)と比較する

(5) 報告にあたって

①各種図表の数値の合計が100%にならない場合があります。

報告書の読みやすさから、小数点を第1位または第2位までの表示にする小数点の端数処理によるものです。

②本報告書の令和3年度の施策コスト、基本事業コストと「令和4年度まちづくり報告書」の施策コスト、基本事業コストが異なる場合があります。

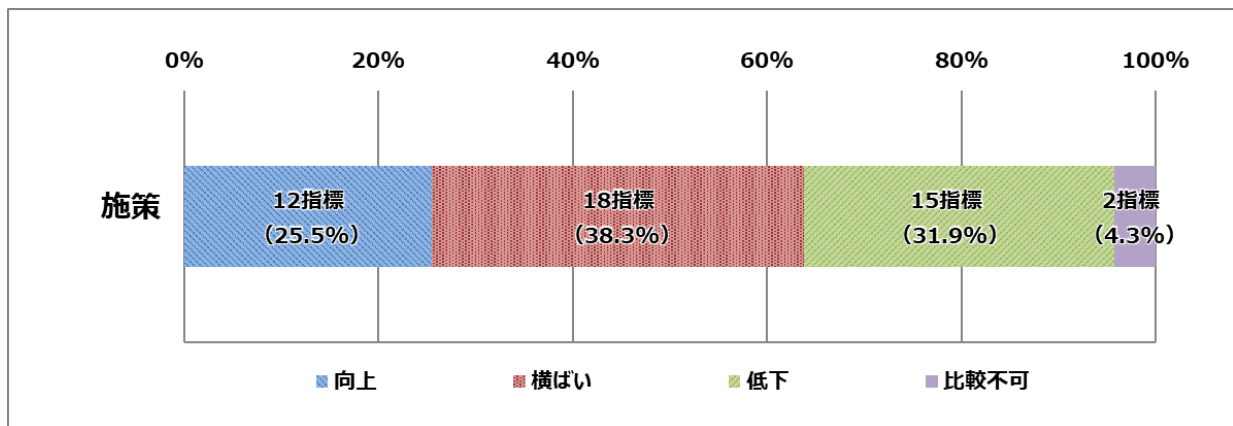
③令和4年度成果実績は、第3次愛南町総合計画の始期のため、対前年度の比較はありません。

2 まちづくりの進展度（対基準値）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の前期計画開始前の値である基準値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

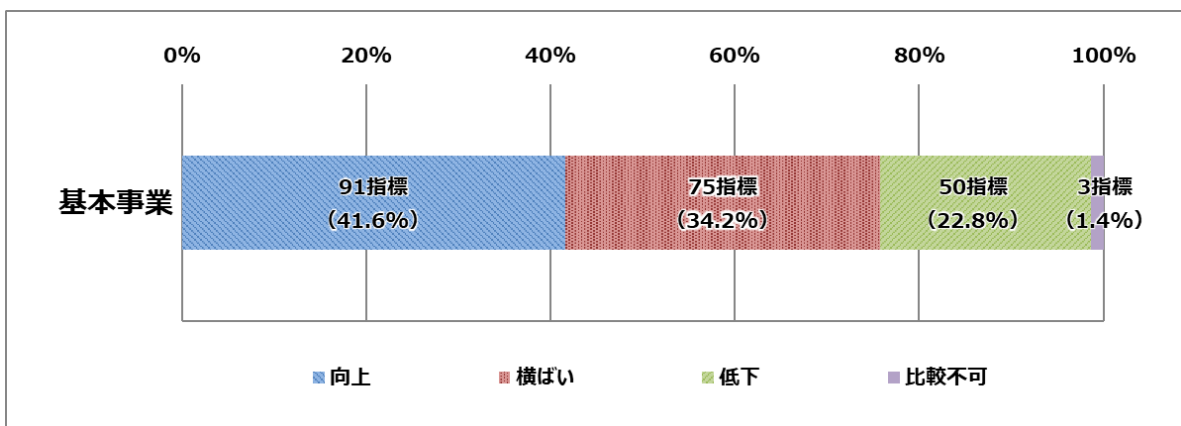
（1）施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）

23 施策の成果として設定されている47の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は12指標（25.5%）、横ばいの指標は18指標（38.3%）、低下の指標は15指標（31.9%）、比較不可の指標は2指標（4.3%）となっています。



（2）基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）

97 基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は91指標（41.6%）、横ばいの指標は75指標（34.2%）、低下の指標は50指標（22.8%）、比較不可の指標は3指標（1.4%）となっています。

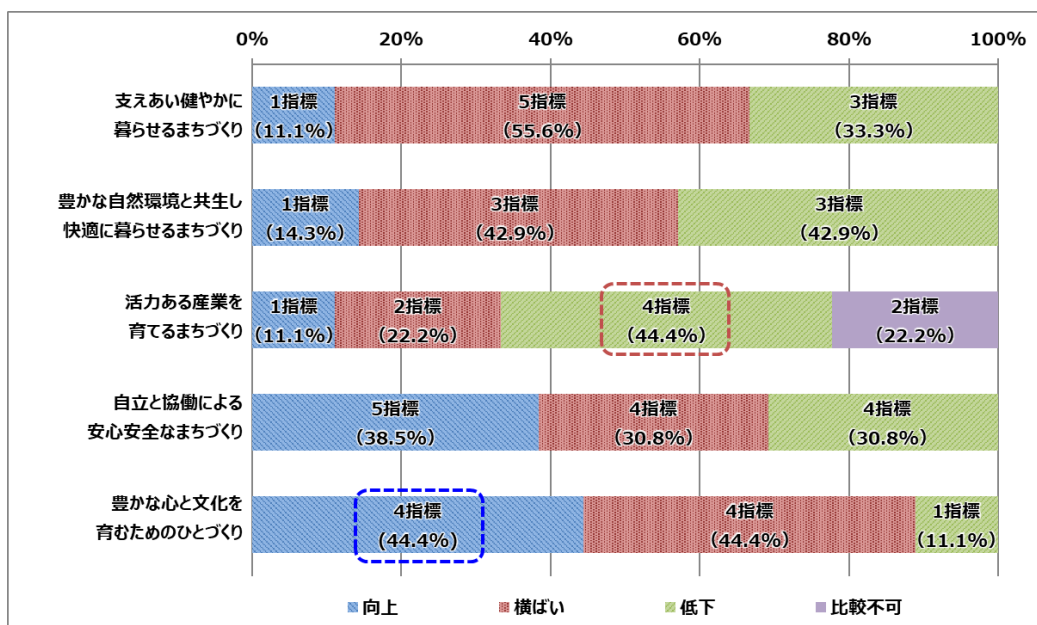


(3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

〈施策階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

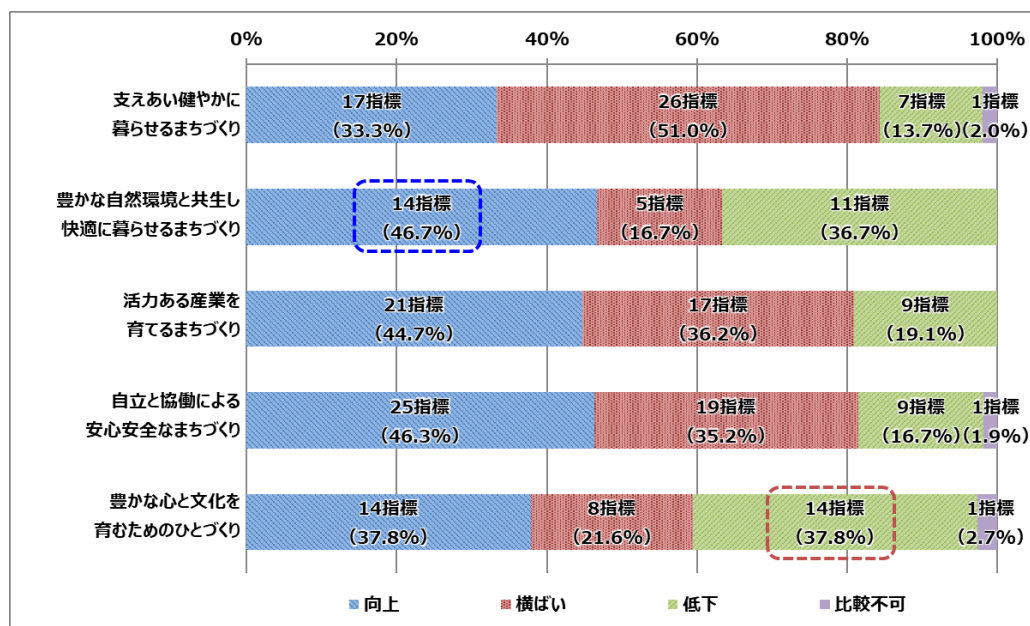
■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



〈基本事業階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」

■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)



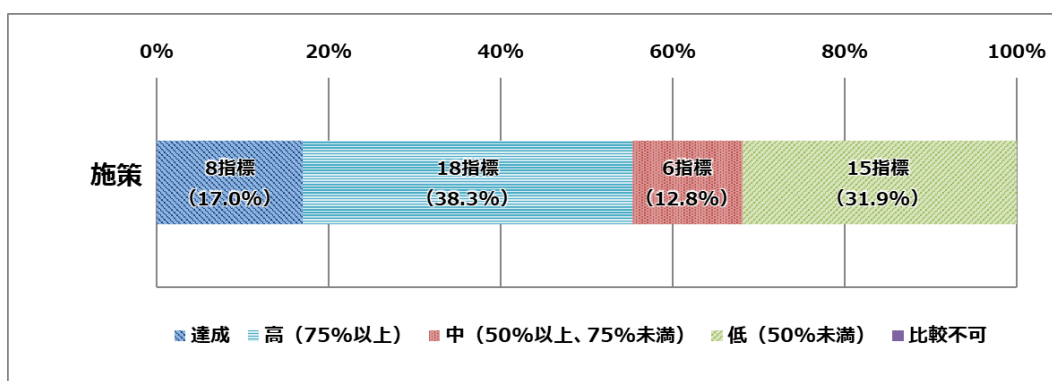
3 前期基本計画の目標達成状況（目標達成度）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の令和4年度値である目標値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

なお、今回の報告は、前期基本計画4年間の1年度の評価となっています。

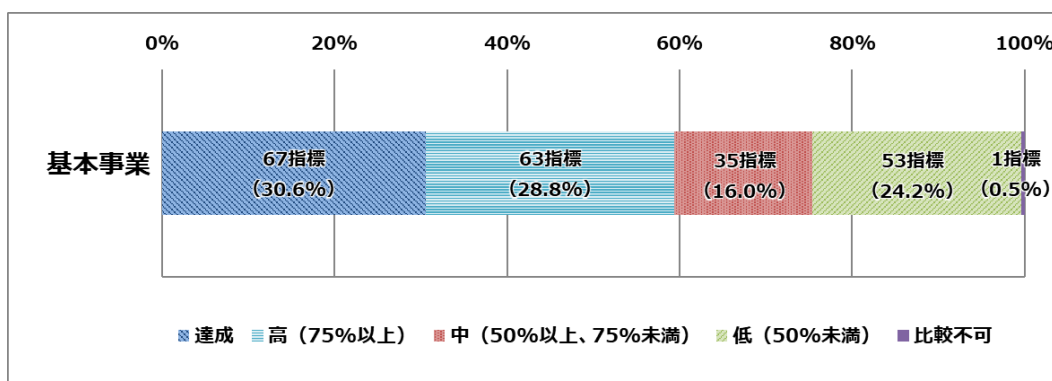
(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）

23 施策の成果として設定されている47の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は8指標（17.0%）、達成度75%以上（高）の指標は18指標（38.3%）、達成度50%以上（中）の指標は6指標（12.8%）、達成度50%未満（低）の指標は15指標（31.9%）、比較不可の指標は0指標（0%）となっています。



(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）

97 基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は67指標（30.6%）、達成度75%以上（高）の指標は63指標（28.8%）、達成度50%以上（中）の指標は35指標（16.0%）、達成度50%未満（低）の指標は53指標（24.2%）、比較不可の指標は1指標（0.5%）となっています。

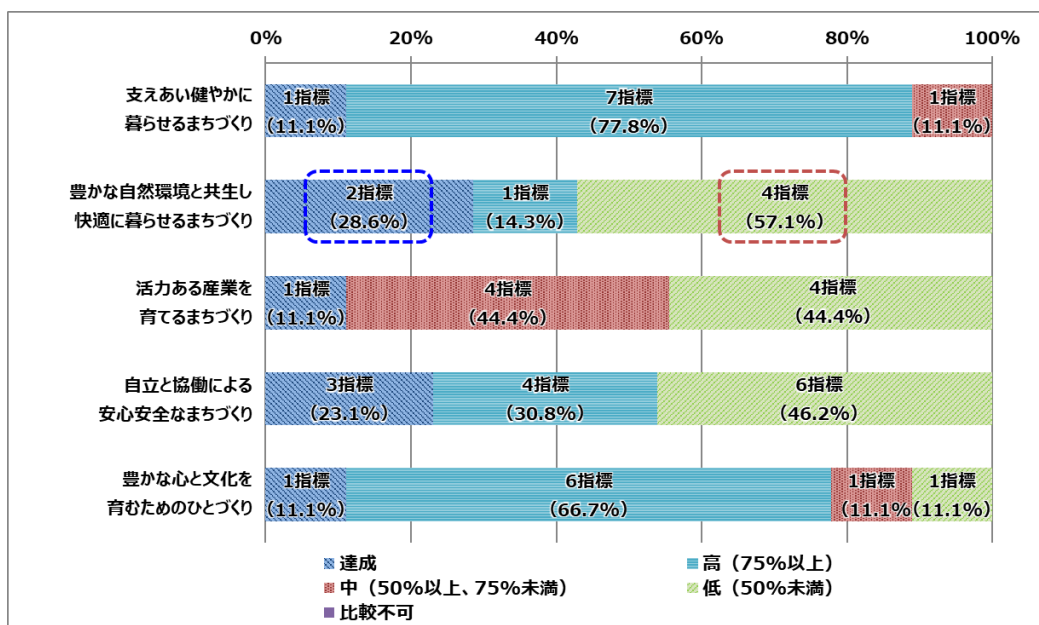


(3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

〈施策階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」

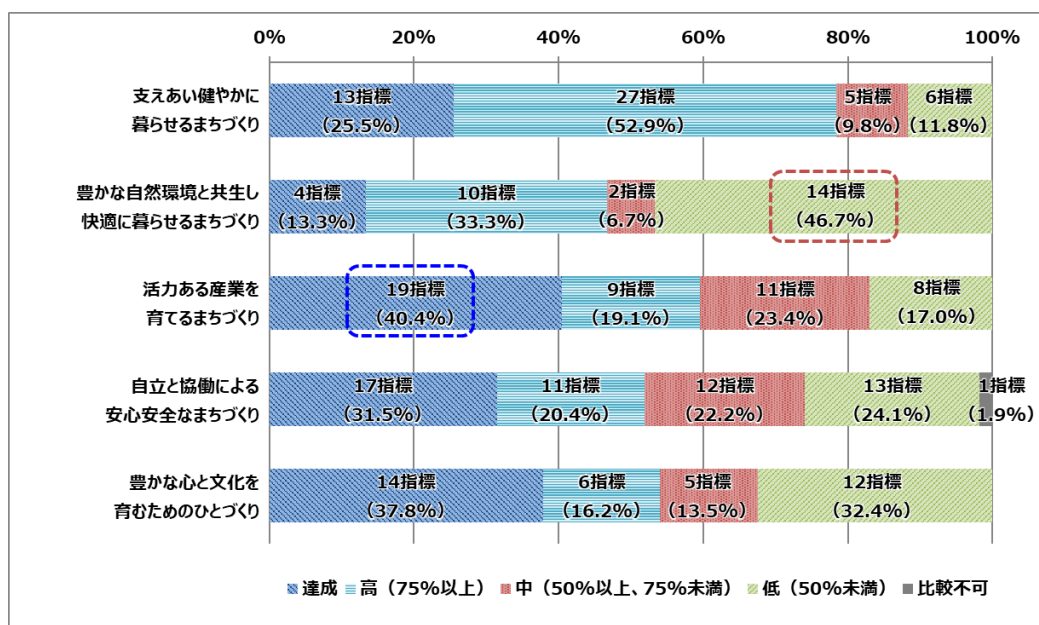
■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



〈基本事業階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」

■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)



4 まちづくりの分野別進行状況

愛南町の将来像「ともに彩（いろどり）を育（はぐく）むまち いろこい あいなん」を実現するために、愛南町の課題を踏まえ、5つの政策を柱に、23の施策、97の基本事業を設定し、まちづくりを推進しました。

まちづくりの分野別進行状況では、施策及び基本事業ごとに設定した成果指標に基づき、どれぐらいまちづくりの「めざす姿」に近づいているのかを、指標の動向や変動要因の分析などによりお知らせします。



政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-01-01 子どもの健やかな成長

基本事業 01-01-02 保育サービス等の充実

基本事業 01-01-03 地域における子育て支援

基本事業 01-01-04 子どもの人権尊重

基本事業 01-01-05 家族形成意識醸成の支援

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

保育所の入所児童数は令和4年度末364人（広域受託児童除く）で昨年度から34名の減少となっています。保育所の児童数は、長期的に見て減少傾向にあり、児童数減少に伴い統廃合の基準に該当する保育所もでてきています。待機児童は発生していません。平成28年度からの保育料第2子無料化、令和元年10月からの幼児教育・保育無償化により、保護者の経済的負担の軽減は図られていますが、課題としては慢性的な保育士不足の中で保育体制をどう維持していくか、人口減少も見越した長期的な保育施設・サービスのあり方を考える必要があります。就学後については、学童保育として3か所の放課後児童クラブを設置しており、令和4年度末現在で94名の利用となっています。年度当初は1か所で定員が超過していましたが、弾力的な受け入れを行うことで待機児童なく運営できています。放課後等に児童が安心して過ごせる居場所の確保は課題となっており、令和4年度には、御荘夢創造館内におかえり子どもクラブ、家串地区に家串子ども塾を開設し、また、支援の必要な家庭や児童の新たな居場所づくりについても検討しています。支援員等の人材確保が課題に挙げられますが、引き続き各関係機関と連携して、現状を確認しながら検討していく必要があります。

令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婚活イベントを中止しましたが、令和4年度に再開しています。若い世代がよきパートナーと巡り合い、安心して子どもを産み、育てていくためのサポートの一環として、独身男女に出会いの場の提供や経済的な支援の必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.93 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.88 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
家族形成を考える世代、子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童）	安心して産み、子育てができる環境を整えます。

施策の成果状況と評価

指標	保護者による「子育てしやすいまち」に関する評点（100点満点） 上がると良い指標 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		点	76.4		72.2	80	対基準値 (横ばい) 対前年度 目標達成度 ■■ (高)
評価	（状況）令和4年度は72.2点で基準値76.4点を4.2ポイント下回っています。 （原因）「普通だと思う」の割合が増えていますが、保育所及び放課後児童クラブの待機児童はなく、また、アンケート結果も保育ニーズは概ね満たしていると考えます。子育て環境に係るサービスは大部分で充実できており、今後も安定したサービスの提供と質の向上を図り、保護者の安心感を高めていけるよう努めていきます。						
指標	合計特殊出生率 上がると良い指標 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		()	1.12		1.41	1.5	対基準値 (横ばい) 対前年度 目標達成度 ■■ (高)
評価	（状況）令和4年度は1.41で基準値1.12を0.29ポイント上回っています。 （原因）前年と比較し15歳から49歳の女性人口が132人減少し、出生数も6人減少しています。15歳～34歳の出生数は横ばいですが、35歳～39歳までの出生数は減少しています。婚姻率を上げるための取組みや子どもを産み育てやすい事業実施に努めていきます。						

施策のコスト（千円）

R03	R04
1,088,335	848,700

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-01 子どもの健やかな成長

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 妊娠期から思春期の子どもと保護者	基本事業がめざす姿 妊娠期から思春期まで親子が健やかに過ごすことができます。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	妊娠20週以降の妊娠届出数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【保健福祉課】	件	0		4	0	☔ (低下)
評価	(状況) 20週以降の妊娠届出数は4件と増加しており、基準値、目標値ともに達成できていません。 (原因) 妊娠に気付かず経過している妊婦や、受診を先延ばしにする妊婦がいることが、届出が遅くなっている要因と考えられます。						☔ (低下)
							☔ (対前年度)
							■ (目標達成度)
							■ (低)

指標	3歳児健診の受診率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	100		98.7	100	☁ (横ばい)
評価	(状況) 3歳児健診の受診率は98.7%と、基準値と比較して1.3ポイント低下していますが、ほとんどの児が受診しています。 (原因) 体調不良により年度内に受診できていない児がいたため、100%となっていませんが翌年度に受診できています。						☁ (横ばい)
							☁ (対前年度)
							■ (目標達成度)
							■ (高)

指標	3歳児健診におけるむし歯のある子どもの割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【保健福祉課】	%	18.1		12.8	16.0	☀ (向上)
評価	(状況) むし歯のある子どもの割合は、12.8%と基準値と比較して5.3ポイント低下し、目標値を達成しています。 (原因) ブラッシング指導や仕上げ磨きの必要性について周知し、保護者のむし歯予防に対する認識が向上していることが考えられます。						☀ (向上)
							☀ (対前年度)
							■ (目標達成度)
							☑ (達成)

指標	若年妊婦の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【保健福祉課】	%	1.5		1.7	1.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 若年妊婦の割合は1.7%で、基準値と比較して0.2ポイント増加しています。 (原因) 若年妊婦の届出件数は横ばいですが、全体の妊娠届出件数が減少傾向にあり、1人当たりの割合が高くなったためと考えられます。						☁ (横ばい)
							☁ (対前年度)
							■ (目標達成度)
							■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
27,167	40,770

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-02 保育サービス等の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育等を利用する子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 保育サービスや放課後の居場所の充実により、保護者が安心して子どもが預けられ、働くことができます。
---	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
保育所を利用している保護者の満足度(100点満点) 上がると良い指標 【保健福祉課】	点	80.6		86.4	80	☁️ (横ばい)
評価 (状況)令和4年度は86.4点で基準値80.6点を5.8ポイント上回っています。 (原因)待機児童なしで受け入れできていること、また提供している各種保育サービスについても概ね満足を得られていることが要因と考えます。	(点)					☁️ (横ばい)
						☁️ (達成)
学童保育を利用している保護者の満足度(100点満点) 上がると良い指標 【保健福祉課】	点	76.8		78.2	80	☁️ (横ばい)
評価 (状況)令和4年度は78.2点で基準値76.8点を1.4ポイント上回っています。 (原因)令和4年度は待機児童がなく、全ての児童の受け入れができました。アンケートの結果からは、子どもへの接し方や職員の配置状況等概ね満足を得られており、継続してサービスの質の向上に努めていることが要因と考えられます。	(点)					☁️ (横ばい)
						☁️ (高)
放課後の児童の受入事業(施設)設置数 その他の指標 【保健福祉課】	か所	8		10	8	☀️ (向上)
評価 (状況)令和4年度は設置数は10か所で基準値を2ポイント上回っています。 (原因)令和4年度におかえり子どもクラブと家串子ども塾を開設しました。保護者や児童のニーズを確認しながら、放課後の居場所づくりについて検討し、関係機関との調整が図られたことが要因と考えられます。	(か所)					☀️ (向上)
						☁️ (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
256,792	216,776

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-03 地域における子育て支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育を利用する子どもの保護者）	子育ての不安や悩みを取り除きます。

基本事業の成果状況と評価

指標	子育てについて相談できる相手（場所）がいる（ある）保護者の割合 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	93.5		93.5	100	(横ばい)
評価	(状況) 令和4年度は93.5%で基準値と同じになっています。 (原因) アンケート結果では、相談先に行政機関を選択した人の割合は全回答者の58.5%となっています。相談先があると回答した割合は高い数値となっていますが、一方で新たな相談先や情報の入手先が増えていないため、基準値と同じになったと考えられます。						対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)

指標	子育てについて相談できる相手（場所）の相談先の数（人、行政機関等） 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	相談先数	4.2		3.9	4.5	(低下)
評価	(状況) 令和4年度は3.9件で基準値4.2を0.3ポイント下回っています。 (原因) 相談できる相手がいる保護者の割合が基準値から変わっていないことが要因の一つと考えられます。相談先がないと回答した人の割合は6.5%になっています。また、相談先として行政機関と回答する保護者は例年15%～16%程度に推移しており、この割合が伸びていないことも一つの要因と考えられます。						対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
31,235	32,216

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-04 子どもの人権尊重

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子ども	基本事業がめざす姿 人権や権利が守られ、生活できます。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	虐待ケースの終結の割合	%	28.0		29.8	30.0	(向上) 対前年度 目標達成度 ■■■ (高)
	上がると良い指標 指標のとらえ方の変更による 【保健福祉課】						
評価	(状況) 虐待ケースの終結割合は29.8%で基準値を上回ったものの目標値には達していません。 (原因) 令和4年度は転入や関係機関からの早期発見による新規での通報が多くありましたが、関係機関と連携して、虐待防止に向けた啓発と妊娠期からの継続した支援に努めたことなどから基準値を上回ったと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	8

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-05 家族形成意識醸成の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 20歳以上の独身者	基本事業がめざす姿 若い世代を中心に婚姻率が高まります。 若い世代の婚姻や家族形成意識を醸成し、次世代が育成されます。
-----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	出会いの場を提供したカップルの延べ成婚数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【企画財政課】	組	5		6	9	☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ■ (中)
	評価	<p>(状況) 出会いの場を提供したカップルの延べ成婚数は6件で、総合計画基準より1ポイント向上しており、順調です。 (原因) 町主催の出会いイベントだけでなく、愛結び事業を活用することで出会いの場の創出につながっていることが一因であると考えられます。</p>					
指標	婚姻率（人口1,000人当たり） 上がると良い指標 【企画財政課】	%	2.0		2.2	2.5	☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ■ (高)
	評価	<p>(状況) 婚姻率は2.2%で、総合計画基準値より0.2ポイント向上しており、順調です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症による出会いの場の減少が少しずつ解消されて、様々な手段を通じて出会いの場が創出されていることが一因であると考えられます。</p>					

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
591	3,487

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
772,550	555,443

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-02-01 安心と尊厳のある暮らしの保持

基本事業 01-02-02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進

基本事業 01-02-03 地域における支えあい・連携の強化

基本事業 01-02-04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備

基本事業 01-02-05 介護保険サービスの充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

令和4(2022)年4月1日現在の高齢化率は45.6%で、令和22(2040)年には58.6%になると推計されています。また、町内の127地区(行政区)のうち53地区が限界集落であることに加え、単身高齢者世帯の割合の増加や活動している老人クラブ数が減少するなど、地域力の低下や人間関係の希薄化が進んでいます。一方で介護人材の不足も進んでいることから地域における支え合い連携の強化が必要となっています。

要支援・要介護認定の新規該当者の平均年齢は令和4(2022)年度では82.6歳・82.8歳と総合計画基準値と比較すると延伸しており、引き続き、高齢者になるべく要介護状態にならず自立した生活が送れるように「自立支援・重度化防止」に向けた取組を推進していきます。

介護人材の不足については、介護給付の適正化を行う一方で、新たな介護の担い手の確保と地域で支える仕組みづくりを進めていき、地域包括ケアシステムの更なる深化に向け取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.79 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
高齢者、家族、地域住民、事業者	高齢者が健康で、生きがいをもって住み慣れた地域で生活できます。

施策の成果状況と評価

指標	自立高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	79.2		79.5	80.0	
	【高齢者支援課】	(%)					(横ばい)
評価	(状況) 自立高齢者の割合は79.5%で、総合計画基準値より0.3ポイント増加し、順調です。 (原因) 自立高齢者の割合は横ばい状態ではありますが、介護予防への取り組みにより要支援・要介護者の増加に歯止めをかけているためと考えられます。						対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)

施策のコスト(千円)

R03	R04
4,061,850	3,989,959

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-01 安心と尊厳のある暮らしの保持

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
高齢者、家族	高齢者の権利が守られるとともに必要な時に相談することができ、安心して暮らせるための支援を受けられます。

基本事業の成果状況と評価

指標	高年齢者の人権が侵害された件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【高齢者支援課】	件	4		3	0	
評価	(状況) 高齢者の人権が侵害された件数は3件で、総合計画基準値より1件減少し、順調です。 (原因) 地域住民、民生児童委員、関係機関等と連携を図り、高齢者虐待や消費者被害を早期発見・対応ができたことで、件数の増加を防げたものと考えられます。						(横ばい) 対前年度 目標達成度 (低)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
6,570	9,612

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 自発的な社会活動や各種事業を通じて、介護予防・健康づくりに取り組み、生きがいを持って生活しています。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	要支援認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	81.8		82.6	82.3	☀ (向上)
評価	(状況) 要支援認定者の新規該当者の平均年齢は82.6歳で、総合計画基準値より0.8歳延伸し、順調です。 (原因) 介護予防教室等で啓発活動を行い、要支援状態にならないための介護予防の取り組みや習慣づけができるように実施してきたことによるものと思われます。						☁ (横ばい)
		対前年度	目標達成度	🏰 (達成)			

指標	要介護認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	82.4		82.8	83.3	☁ (横ばい)
評価	(状況) 要介護認定者の新規該当者の平均年齢は82.8歳で、総合計画基準値より0.4歳延伸し、順調です。 (原因) 介護予防教室等で啓発活動を行い、要介護状態にならないための介護予防の取り組みや習慣づけができるように実施してきたことによるものと思われます。						☁ (横ばい)
		対前年度	目標達成度	■ (高)			

指標	生きがいをもっている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	55.2		61.8	60.0	☀ (向上)
評価	(状況) 生きがいをもっている高齢者の割合は61.8%で、総合計画基準値より6.6ポイント増加し、目標値に達しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、身近な場所で集まる機会が減少していましたが、令和4年度からは感染対策を講じながら少人数での文化活動や屋外での軽スポーツ等の活動が徐々に再開されたことにより、少しずつ生きがい活動に取り組む人が増えてきたためと考えられます。						☁ (横ばい)
		対前年度	目標達成度	🏰 (達成)			

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
95,641	84,948

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-03 地域における支えあい・連携の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、地域住民、医療・介護従業者	基本事業がめざす姿 地域における支え合いや連携を強化することで、高齢者が住み慣れた地域で生活していくことができます。
-------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	相談相手がいない高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	%	10.1		16.3	8.0	☔ (低下)
評価	(状況) 相談相手がいない高齢者の割合は16.3%で、総合計画基準値より6.2ポイント増加し、順調ではありません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、地域活動を中止したり、縮小したりする団体や地域が多くなり、地域内の交流が制限されたことが原因だと考えられます。						対前年度 目標達成度 (低)
指標	第2層協議体の設置数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	協議体	0		1	4	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度は第2層協議体を一本松地域に1協議体設置し、順調です。 (原因) 旧5か町村に毎年1か所ずつ設置し、地域の支え合いや助け合いの活動を推進していく計画としています。						対前年度 目標達成度 (低)
指標	他の事業所との連携ができていると答える医療・介護従事者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	72.3		-	73.0	比較不可
評価	統計年次の関係で取得できない年次であり、現状値がないため、評価コメントを記載いたしません。						対前年度 目標達成度 (低)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
5,320	5,839

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
高齢者、家族	在宅において日常生活の支援や住まいの支援を受けることで高齢者が安心して暮らすことができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	高齢者福祉サービスの利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	上がる和良好的指標 【高齢者支援課】 (状況) 高齢者福祉サービスの利用者数は1,504人で、総合計画基準値より137人増加し目標値を達成しています。タクシー助成2事業、免許返納支援事業等の利用者数は増加しました。その他の事業については、横ばいまたは減少傾向にあります。積極的な周知に努めます。 (原因) 事業の見直しを行い、タクシー事業については、他のタクシー券との同時申請を可としたり、1日の利用枚数の制限を撤廃したため、増加したものと考えられます。	人	1,367		1,504	1,400

Year	Value (人)
基準	1,367
R04	1,504
R07 (Target)	1,400

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
126,210	120,960

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-05 介護保険サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、介護保険事業者	基本事業がめざす姿 介護や支援が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができます。
------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	介護保険サービス利用者のうち施設サービスの利用割合	%	21.4		21.1	21.0	 対前年度 目標達成度 ■■■ (高)
	下がると良い指標 【高齢者支援課】						
評価	(状況) 介護保険サービス利用者のうち施設サービスの利用割合は21.1%で、総合計画基準値より0.3ポイント減少し、順調です。 (原因) できる限り住み慣れた場所で生活が出来るように、在宅サービスの利用が増えていることが考えられます。						
指標	町外施設に入所している高齢者の割合	%	0.3		0.3	0.2	 対前年度 目標達成度 ■■ (中)
	下がると良い指標 【高齢者支援課】						
評価	(状況) 町外施設に入所している高齢者の割合は0.3%で、総合計画基準値と変化なしです。 (原因) 介護給付の適正化を図っているところですが、高齢化率が増加していることから介護サービスの需要は高く、町内の限られた福祉資源はすでに活用されているためと考えられます。						
指標	町内介護保険サービス事業所及び施設に勤務する介護従事者等の人数	人	707		712	700	 対前年度 目標達成度 ■■■ (達成)
	上がると良い指標 【高齢者支援課】						
評価	(状況) 町内介護保険サービス事業所及び施設に勤務する介護従事者等人数は712人で、総合計画基準値より5人増加し、順調です。 (原因) 有資格者を採用して事業を強化した事業所及び外国人介護人材を受け入れた事業所があり、介護現場への就業の促進が行えたためと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
3,552,023	3,486,842

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
276,086	281,758

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

施策を実現する手段

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-03-01 児童発達支援の充実

基本事業 01-03-02 自立支援及び地域生活支援の推進

基本事業 01-03-03 社会参加の促進と就労支援

基本事業 01-03-04 障がい者の人権尊重

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

障がいのある人の個々の特性は異なり、障がい施策に対するニーズは、ますます多様化、複雑化しています。住み慣れた地域で安心して暮らすことができることは、障がいの有無に関わらず共通の願いとなります。相談支援事業が充実する一方で、障がいのある人、その家族及び支援者からはニーズに対して充足できる社会資源が不足している等の指摘があり大きな課題となっています。

愛南町障がい者計画等の関係計画の推進により新たな社会資源の創出について取り組んでいますが、福祉関係従事者の人員不足などもあるため、地域社会のつながりの中で障がい福祉制度の枠組みを超えた資源の創出に取り組む必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.99 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
障がい者(児)	障がい者(児)が町内で自ら望む地域生活をいきいきと営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	町内で生活をしている障がい者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	95.2		87.7	95.0	☔ (低下)
評価	(状況) 令和4年度は87.7%で基準値を7.5ポイント下回っています。 (原因) 障がい者手帳全体の所持者は年々減少していますが、介護者の高齢化等により施設入所を希望する方が多いことが主な要因として考えられます。						対前年度
							■ ■ ■ (高)

施策のコスト(千円)

R03	R04
858,495	857,588

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-01 児童発達支援の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 発達が気になる子、障がい者(児)とその家族	基本事業がめざす姿 障がい児支援を、健診・相談から子育て支援の一環としてとらえ、ライフステージに沿って切れ目のない支援が得られ、家族は安心して子育てできます。
---	---

基本事業の成果状況と評価

指標	各種児童発達支援サービスを受けている子ども数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	89		93	90	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度の療育利用者数は93人で基準値より4人増加しています。 (原因) 要支援者の早期発見のための支援体制の確立や相談支援体制が充実したことにより、療育の必要性が認知されたことが考えられます。	(人)					対前年度 目標達成度 🏰 (達成)

指標	適切なサービスを受けるために相談支援を利用している子ども数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	76		93	80	☀ (向上)
評価	(状況) 相談支援専門員がアセスメントからサービス等利用計画を作成しサービスを利用している子どもは93人で基準値より17人増加しています。 (原因) 地区担当保健師の相談からサービスにつながるケースが増加したことが要因として考えられます。今後はサービスの質の更なる向上を目指しながら子どもの健やかな発達成長につなげていきます。	(人)					対前年度 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
74,870	91,778

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

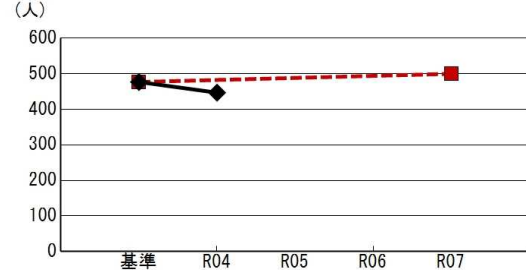
基本事業 01-03-02 自立支援及び地域生活支援の推進

基本事業のプロフィール

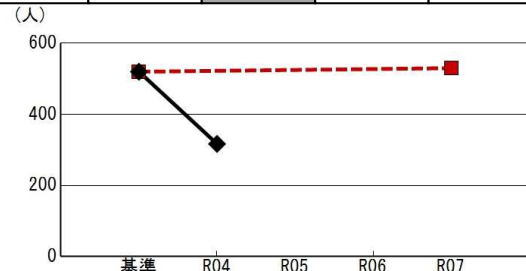
基本事業の対象 障がい者(児)	基本事業がめざす姿 障がい種別に応じたサービスを受けることにより、住み慣れた地域で生活を送ることができます。
--------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	自立支援給付を受けている人数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	477		447	500	☔ (低下)
評価	(状況) 令和4年度の自立支援給付利用者数は447人で基準値より30人減少しています。 (原因) 利用者の高齢化により介護サービスに移行したことが減少の要因と考えられます。相談支援体制の充実により必要人に適切なサービスが提供されていると考えられます。	(人)					対前年度 目標達成度 ■■ (高)



指標	地域生活支援事業の利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	520		317	530	☔ (低下)
評価	(状況) 令和4年度の利用者数は317人で基準値より203人減少しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、日中一時支援事業で受け入れ制限が生じたことが利用者数減少の要因と考えられます。今後、通常どおり受け入れされることにより利用者数が増加すると考えます。	(人)					対前年度 目標達成度 ■■ (中)



基本事業のコスト(千円)

R03	R04
781,288	751,708

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-03 社会参加の促進と就労支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 障がい者(児)、事業者、町民	基本事業がめざす姿 障がい者(児)が社会参加しやすい環境が整い、地域社会の一員であるという意識が醸成します。
---------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町内の就労支援事業所利用率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	87.8		75.3	88.0	☔ (低下)
評価	(状況) 町内の就労支援事業所利用率は75.3%と基準値を12.5ポイント下回っています。 (原因) 令和4年度から新規でB型事業所が開設され少人数からの受入れで事業を開始したことが大きな要因として考えられます。また事業所が提供できるサービスと利用者が求めるサービスが合致しないことも利用率の低下につながっています。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

指標	障がい者の日中活動の場を提供する事業所等の数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	箇所	10		10	12	☁ (横ばい)
評価	(状況) 既存の日中活動の場を提供するサービス事業所や団体は10箇所で基準値と同数です。 (原因) 保護者の望む日中活動の場は、十分とは言えない状況です。その中でも保護者会が中心となり定期的に子どもたちの活動の場をつくっています。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
820	320

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-04 障がい者の人権尊重

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 障がい者(児)、事業者、町民	基本事業がめざす姿 地域で、安全に暮らすために人権が尊重されています。
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	障がい者に関する権利が損なわれた件数(子ども、高齢者以外)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	下がると良い指標 【保健福祉課】 (状況) 障がい者に関する権利が損なわれた件数は0件です。 (原因) 権利が損なわれた件数は0件でしたが、広報などの媒体を活用しながら障がいのある人の権利擁護に関する事項について周知を行っていきます。	件	0		0	0

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	0

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
1,517	13,782

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-04-01 生活習慣病の予防

基本事業 01-04-02 早期発見・早期治療の推進

基本事業 01-04-03 こころの健康づくり

基本事業 01-04-04 感染症予防対策の推進

基本事業 01-04-05 医療保険制度の健全運営

基本事業 01-04-06 福祉医療費助成制度の充実

基本事業 01-04-07 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

高齢化率は46.3%と前年度と比較して0.7ポイント増加し、高齢化に伴う疾患の慢性化、長期化、重症化等の影響で、医療ニーズはますます増大しています。また、新型コロナウイルス感染症が長期にわたり継続したことで、地域の診療や、検査機関、陽性者の対応機関として地域の医療機関の役割はさらに増大しました。

また、一人当たりの年間保険給付費は国民健康保険において増加傾向にあることから、引き続き、町民一人ひとりがライフステージに応じた健康づくりに取り組み、生活習慣病の発症予防・重症化予防を行うことで限りある医療資源を守ることが必要です。

県立南宇和病院、愛媛大学、愛南町が連携し、継続して医師確保の取組を行っています。令和3年度から実施している愛南町での生活への不安払拭や地域への定着を目的とした赴任医師に対する生活応援事業を継続して実施するとともに、愛南町の地域医療や魅力について紹介したプロモーション動画を医学生や臨床研修医、県内外の医師等に対して発信しています。また、地域医療や地域のよさにふれることを目的とした医療にふれる会をオンラインで開催しました。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.59 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	4.12 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>健康な暮らしができる町民が増えます。 町民が安心して医療を受けることができます。</p>
------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	65歳以上で介護認定を受けていない町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	<p>上がると良い指標</p> <p>【保健福祉課】</p>	%	79.2		79.0	80.0	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 65歳以上で介護認定を受けていない町民の割合が79.0%で、基準値と比較して0.2ポイント低下し、目標値を下まわっています。</p> <p>(原因) 生活習慣病の重症化予防や特定保健指導を実施して壮年期からの健康づくりに取り組んでいますが、高齢化の進展が影響していると考えられます。</p>						☂️ (低下)
		<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>					

指標	自分で健康と感じている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	<p>上がると良い指標</p> <p>【保健福祉課】</p>	%	78.4		73.3	80.0	☂️ (低下)
評価	<p>(状況) 自分で健康と感じている町民の割合は73.3%と、基準値と比較して5.1ポイント低下しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、集団で実施する健康教育の場や、交流の機会の減少により、主観的健康感が低下したと考えられます。</p>						☂️ (低下)
		<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>					

指標	65歳未満の死亡率 (65歳未満人口千対)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	<p>下がると良い指標</p> <p>【保健福祉課】</p>	-	2.2		3.0	1.8	☂️ (低下)
評価	<p>(状況) 65歳未満の死亡率は3.0と、基準値と比較して0.8ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活習慣の変化や健診の受診控え等があり、生活習慣病の重症化への進行や疾病の早期発見が遅れたことが要因と考えられます。</p>						☂️ (低下)
		<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>					

指標	町内の医療体制に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	<p>上がると良い指標</p> <p>【保健福祉課】</p>	%	38.0		42.0	40.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 町内の医療体制に対する満足度は42.0%で、基準値と比較して4ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 県立南宇和病院の常勤医師不足が続いていますが、町内の医療機関や大学病院等の支援を得て、医療を維持しています。また、医療・介護連携の取組により、満足度が向上したと考えられます。</p>						☂️ (低下)
		<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>☀️ (達成)</p>					

施策のコスト (千円)

R03	R04
4,826,737	4,947,261

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-01 生活習慣病の予防

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 自分に合った健康づくりの方法で健康管理ができます。
---------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
喫煙している町民の割合 【保健福祉課】	%	12.3		14.7	10.0	(横ばい)
下がると良い指標						対前年度
評価	(状況) 喫煙している町民の割合は14.7%で、基準値と比較して2.4ポイント上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響でストレスがかかり、喫煙者が増加していることが考えられます。					目標達成度 ■ (中)
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している町民の割合 【保健福祉課】	%	10.9		9.1	7.0	(横ばい)
下がると良い指標						対前年度
評価	(状況) 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている町民の割合は9.1%で、基準値と比較して1.8ポイント減少しています。 (原因) 健診結果報告会や健康づくり教室等で、適正な飲酒量について周知したことが要因と考えられます。					目標達成度 ■■ (高)
20歳の時の体重から10kg以上増加している町民の割合 【保健福祉課】	%	40.4		35.7	30.0	(向上)
下がると良い指標						対前年度
評価	(状況) 20歳の時の体重から10kg以上増加している町民の割合は35.7%で、基準値と比較して4.7ポイント減少しています。 (原因) 壮年期からの健康づくりの目標として、適正体重の維持・管理を設定し、啓発や指導を行っていることが要因と考えられます。					目標達成度 ■■ (高)
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している町民の割合 【保健福祉課】	%	36.3		36.3	40.0	(横ばい)
上がると良い指標						対前年度
評価	(状況) 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合は36.3%で、横ばいです。 (原因) 壮年期からの健康づくりの目標として、手軽にできる運動を普及していますが、町民への周知が不十分であることが要因と考えられます。					目標達成度 ■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
1,161	1,159

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-02 早期発見・早期治療の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	健（検）診を定期的に受診し、病気が早期に発見され、早期に治療を行います。

基本事業の成果状況と評価

指標	年1回健診を受けている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	69.0		69.0	73.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 年1回健診を受けている町民の割合は69.0%で、基準値と比較して横ばいです。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で、健診の受診を控えたことが要因と考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■ (高)

指標	年1回がん検診を受けている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	49.6		53.0	55.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 年1回がん検診を受けている町民の割合は53.0%で、基準値と比較して3.4ポイント増加しています。 (原因) がん検診の受診勧奨の周知を継続していることが要因と考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
50,530	49,337

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-03 こころの健康づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	こころの悩みを相談したり、軽減することでこころの健康を保ちます。

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値	
ストレスを解消する方法をもっている町民の割合 上がると良い指標 【保健福祉課】	%	69.8		65.3	70.0	☁️	
評価 (状況) ストレスを解消する方法をもっている町民の割合は、65.3%と基準値より4.5ポイント低下しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が長期に継続したことで、行動制限等により人との交流が減少し、ストレスの増大や解消方法が実践できなかったことが要因と考えられます。						(横ばい)	
						対前年度	☐
目標達成度							☐
							☐
							(高)
人口10万人あたり自殺死亡率 下がると良い指標 【保健福祉課】	-	14.3		14.6	12.8	☁️	
評価 (状況) 人口10万人あたり自殺死亡率が14.6と、基準値と比較して0.3ポイント増加しています。 (原因) 自殺死亡率は増加していますが、自殺者数は横ばいです。自殺の背景には、こころの問題だけでなく、生活困窮、過労、介護疲れ、孤立等の様々な要因が関連していると考えられます。						(横ばい)	
						対前年度	☐
目標達成度							☐
							☐
							(高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
616	326

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-04 感染症予防対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 感染症の予防・啓発に努め、発生・まん延を防ぎます。
---------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	各種予防接種の接種率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	70.6		70.0	72.0	☁️
	【保健福祉課】	(%)					(横ばい)
評価	(状況) 子どもの麻疹風しん(2期)と高齢者のインフルエンザの接種率は70.0%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しています。 (原因) 子どもと高齢者の定期予防接種の接種率は横ばいです。適切な時期に個別通知や接種勧奨をしていることが要因と考えられます。					対前年度	
							■ ■ ■
							目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
221,432	165,455

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-05 医療保険制度の健全運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者	基本事業がめざす姿 医療保険制度を健全に運営します。
--	--------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【町民課】	円	336,188		368,054	336,000	☂ (低下)
評価	(状況)令和4年度は、令和3年度より26,675円増加しています。前期目標値からも32,054円増加しており、順調でなく、前期計画開始時点の基準値を上回りました。 (原因)生活習慣病の重症化、入院を要する治療、高額薬剤等による医療費の高額化、また被保険者の65歳以上の割合が5割を超え高齢化の影響が考えられます。						対前年度
		目標達成度					

指標	国民健康保険税の収納率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【町民課】	%	97.22		98.21	98.00	☀ (向上)
評価	(状況)収納率は令和3年度に比べ0.28ポイント上昇しています。前期目標値に対しても0.21ポイント上回り、前期目標値を達成しました。 (原因)対象者への丁寧な制度説明や未納者に対する滞納処分の強化等によるものと考えます。						対前年度
		目標達成度					

指標	後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【町民課】	円	712,750		692,065	712,000	☀ (向上)
評価	(状況)令和4年度の一人当たりの年間保険給付費は、令和3年度より32,793円減少し、基準値及び前期目標値ともに達成しています。 (原因)健康診査の啓発強化等による健診受診率の上昇や、生活習慣病の発症及び重症化の予防を図る「保健事業と介護予防の一体的実施事業」が開始されたことによる効果が考えられます。						対前年度
		目標達成度					

指標	後期高齢者医療保険料の収納率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【町民課】	%	99.85		99.83	99.86	☁ (横ばい)
評価	(状況)収納率は令和3年度より0.01ポイント低下し、基準値及び前期目標値と比較して、ともに下回りました。 (原因)後期高齢者医療制度の丁寧な説明と未納者に対する滞納処分の強化等により高い数値を維持できていますが、滞納処分が困難な対象者の後期高齢者医療への移行などの影響が考えられます。						対前年度
		目標達成度					

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
4,022,439	4,167,590

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-06 福祉医療費助成制度の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
子ども、障がい者、ひとり親家庭	社会的・経済的に弱い立場にある方の医療費に係る経済的負担を軽減します。

基本事業の成果状況と評価

指標	福祉医療費年間助成額 その他の指標 【町民課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		千円	119,580		118,310	125,000	(横ばい)

評価	(状況) 基準値と比べ助成額は1,270千円減少しましたが、対象者に対して適切に医療費を助成しました。 (原因) 人口の減少に伴い受給者数も減少していることから、助成額も減少したことが原因と考えています。		対前年度
		目標達成度	

■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
116,052	118,310

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
142,046	185,843

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-05 地域福祉の推進

施策を実現する手段

基本事業 01-05-01 総合相談窓口による支援

基本事業 01-05-02 地域福祉活動への参画推進

基本事業 01-05-03 社会福祉制度の円滑運営

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

福祉サービスの充実や生活基盤となる施設整備を進めるとともに、地域福祉を担う民生児童委員や社会福祉協議会などが様々な地域福祉活動に取り組んでいますが、地域のつながりの希薄化や担い手の高齢化が深刻化しています。今後は、地域で自立した生活を望む町民からの声に応えるなど、地域福祉力の更なる強化や多様化する福祉ニーズへ対応する「地域共生社会の実現」に向けた体制づくりが求められています。

地域をとりまく福祉の課題が複雑・多様化している状況を踏まえ、制度・分野ごとの縦割りや、支え手と受け手の関係を超えて、誰もが役割を持ち、活躍ができる「地域共生社会」を目指すため、令和3年度からの6年間の計画期間とする「第4次愛南町地域福祉計画」を策定しています。計画は、住民、地域、関係団体、行政が協働し、地域福祉活動の推進と社会福祉制度の円滑運営を目指してより良い方策を見出ししていくことを基本的な考え方としています。

また、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、縮小傾向にあった地域福祉活動も少しずつ増加傾向にあります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.96 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.67 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	住み慣れた地域で、お互いに支えあいながら安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地域で支えあっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	67.8		68.8	70.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和4年度は68.8%で、基準値に比べ1.0ポイント向上しています。基準値より向上しましたが、前期目標値には届いていない状況です。</p> <p>(原因) 各地域で地域共生社会の実現に向け、世代や分野を問わず誰もが気軽に集える住民主体の拠点づくりを社会福祉協議会、行政協力員、民生児童委員、ボランティアの地域住民が連携して取り組んだことが成果向上につながったと考えられます。</p>						対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)

施策のコスト(千円)

R03	R04
487,323	379,083

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-01 総合相談窓口による支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	いつでもどこでも誰でも相談ができ、適切な支援を受けられます。

基本事業の成果状況と評価

指標	総合相談窓口での相談・支援件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	その他の指標 【保健福祉課】 (状況) 令和4年度は16件で、基準値に比べ1件増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの不安定な社会情勢などにより、生活が困窮し、何らかの支援を希望して窓口を訪れた相談者数が増加したことが原因と考えられます。	件	15		16	15

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
9,280	15,309

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-02 地域福祉活動への参画推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	地域住民が福祉活動に参画しやすい環境を整備することで、地域福祉活動を活性化します。

基本事業の成果状況と評価

指標	民生児童委員の年間延べ相談・支援件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	件	2,292		2,481	3,200	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度は2,481件で、基準値と比べて189件増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、民生児童委員の相談・支援活動が少しずつ増加したことによるものと考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

指標	福祉分野のボランティア参加者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	人	770		898	2,400	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度は898人で、基準値と比べて128人増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、縮小傾向にあったボランティア参加者数が増加したことが原因と考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
36,356	38,722

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-03 社会福祉制度の円滑運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 社会福祉制度を円滑に運営します。
---------------	-------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	公的な社会福祉制度に基づく延べ支援者数 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		人	6		4,761	3,700	(向上) 対前年度 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和4年度は4,761人で、基準値と比べて4,755人増加しています。 (原因) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の支援対策として、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金が創設されたことが要因です。						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
366,611	249,015

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
75,076	76,037

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-01 循環型社会の形成

施策を実現する手段

基本事業 02-01-01 生活環境の保全

基本事業 02-01-02 再生可能エネルギーの推進

基本事業 02-01-03 生活排水の適正処理

基本事業 02-01-04 4Rの推進

基本事業 02-01-05 ごみ処理体制の適正化

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

今日の環境問題は、身近な生活環境や自然環境に加えて、地球温暖化の影響や生物多様性の危機、更には、東日本大震災を契機とした再生可能エネルギーの活用など新たな局面を迎えています。このような状況を踏まえ、近年の環境をめぐる社会の動き等に対応するため、第2次愛南町環境基本計画を策定し、本計画に基づいて「環境がすべての生命の生存基盤であり、限りあるものであること」を共通認識として、住民、事業者及び行政が一層連携を深め、自然と共生する循環型社会の実現に向けた取組を進めていく必要があります。

特に集落排水処理施設による下水道事業やPFI手法での町営浄化槽整備推進事業の促進により、水環境の改善や汚水処理人口普及率の向上を図るとともに、新エネルギー利用機器の導入促進、再生可能エネルギーの活用と省エネルギー対策に対する住民の理解を深める取組を行うことにより、自然環境負荷が少ない持続可能な社会の形成を目指します。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.93 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.51 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象 町民、事業者、行政、愛南町の自然、廃棄物	施策がめざす姿 環境負荷の少ない生活を実践し、廃棄物の排出を抑制することにより、自然環境にやさしいまちになります。
-------------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	最終処分量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	t	1,153		1,200	1,107	☔ (低下)
評価	(状況) 基準値と比較して47t、4.1%増加しており、不調に推移しています。 (原因) 宇和島地区広域事務組合環境センターからの飛灰処理の割当数量の増加が影響しているものと考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (低)
指標	愛南町のCO2排出量 (産業、家庭含む)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	1,000tCO	135		144	120	☔ (低下)
評価	(状況) 令和4年度の排出量の推計値は、基準値比で9千t-CO2増加しました。 (原因) 新型コロナの流行により、外出自粛による行動様式の変化が見られ、その結果、家庭でのエネルギー消費量が増加したと考えられます。また、産業部門では養殖業での滞留魚の増加により餌の製造や飼育に係るエネルギー消費が増加した可能性が考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (低)
指標	公共水域の水質の基準達成率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	81.3		81.3	100	☁ (横ばい)
評価	(状況) 公共水域の水質基準の達成率は81.3%で、基準値と同じになっており、現状維持となっております。 (原因) 水質基準を達成できなかった採水地点の水路では全窒素や全燐の項目が超過しており、住宅の密集や合併処理浄化槽の普及の低調に伴う生活排水の影響が考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (低)

施策のコスト (千円)

R03	R04
861,228	797,376

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-01 生活環境の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者、愛南町の自然	生活環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。

基本事業の成果状況と評価

指標	自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	70.5		71.7	75	☀️ (向上)
評価	(状況) アンケート結果は71.7%で、基準値と比較して1.2ポイント増加し、回答した町民の7割が自然や住居の周囲が適正に管理されていると感じており、順調に推移しております。 (原因) 各種団体や個人による清掃活動や、広報・防災行政無線等による啓発により、自然や住居の周辺がおおむね清潔に保たれていると考えられます。						☐ 対前年度 ☐ 目標達成度 ■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
16,084	14,265

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-02 再生可能エネルギーの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者	住民の環境意識が高揚し、エネルギーの有効活用、再生可能エネルギーの利用が増え、脱炭素が進んでいます。

基本事業の成果状況と評価

指標	再生可能エネルギー設備の導入容量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値																
		【環境衛生課】	kW	39,895		43,757	75,000	☀ (向上)															
評価	<p>（状況）令和3年度の推計値によると、前年度から太陽光発電設備の導入容量は2,290kw増加しました。</p> <p>（原因）化石燃料の価格高騰、電気料金の上昇により電力を自給自足するため、家庭用太陽光発電設備の導入が一定程度増加しています。産業用については、FIT制度の見直し前に国の許可を取得した事案の設置が緩やかに続いていることが増加の要因として考えられます。</p>	<table border="1" style="display: none;"> <caption>再生可能エネルギー設備の導入容量 (kW)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (R03)</th> <th>実績値 (R04)</th> <th>目標値 (R07)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>39,895</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td></td> <td>43,757</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td></td> <td></td> <td>75,000</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	基準	39,895			R04		43,757		R07			75,000	☀ (向上)
	年度	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)																			
基準	39,895																						
R04		43,757																					
R07			75,000																				
							■ 目標達成度 (低)																

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
5,011	5,936

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-03 生活排水の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政、公共用水域	基本事業がめざす姿 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
汚水処理人口普及率 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	47.4		50.4	61.8	☀️ (向上)
評価 (状況) 汚水処理人口普及率は50.4%となり、基準値と比較して3.0ポイント増加しましたが、近年は伸び悩んでいます。 (原因) 集落排水施設への接続件数及び浄化槽設置基数の増加が指標値向上の要因と考えられます。しかし、海岸部等において設置用地の確保が困難な世帯が多く見られることから、近年の浄化槽設置基数は伸び並んでいます。						☀️ (向上)
						■ (低)
農業・漁業集落排水処理施設への接続率 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	82.7		83.1	85.1	☀️ (向上)
評価 (状況) 基準値と比較して0.4ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 転出等による休止・廃止件数があるものの、それ以上に新築住宅等による接続件数の増加が影響しているものと考えられます。						☀️ (向上)
						■ (高)
合併浄化槽設置基数 (家庭用、事業用) 上がると良い指標 【環境衛生課】	基	2,223		2,352	2,648	☀️ (向上)
評価 (状況) 町内の合併浄化槽の設置基数は、基準値と比較して129基増加しましたが、近年は伸び悩んでいます。 (原因) 町営浄化槽整備事業の受託者である愛南SPCの広報等により、年間約60基程度設置していることが、設置基数の増加の原因と考えられます。しかしながら、目標設置基数の85基を下回っており、要因として、海岸部分において設置用地の確保が困難な世帯が多く見られることが考えられます。						☀️ (向上)
						■ (低)

基本事業のコスト (千円)

R03	R04
505,059	443,218

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-04 4Rの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、行政	基本事業がめざす姿 ごみの発生抑制（Refuse）、削減（Reduce）、再利用（Reuse）及び再生利用（Recycle）を進めることにより、環境への負荷を軽減します。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりのごみの排出量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	g/日	622		626	597	☁️
評価	(状況) 基準値よりも4グラム増加しており、ほぼ横ばい状態で推移しています。 (原因) ごみ排出量は減少傾向で推移しているものの、人口も同様に減少傾向で推移していることが影響しているものと考えられます。	(g/日)					(横ばい) 対前年度 目標達成度 (低)

指標	リサイクル率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	22.4		22.6	27.0	☁️
評価	(状況) 基準値と比較して0.2ポイント増加しており、ほぼ横ばい状態で推移しています。 (原因) 住民へのリサイクル推進のための4Rの意識改革や啓発活動等の不足が要因と考えられます。	(%)					(横ばい) 対前年度 目標達成度 (低)

指標	分別不適合件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	件	58		98	29	☔️
評価	(状況) 基準値と比較して40件、69%と大幅に増加しており、不調に推移しています。 (原因) 家庭ごみの早見表を作成し、リサイクルの推進に努めていますが、分別不適合物は事業系の産業廃棄物が大半を占めていることが影響しているものと考えられます。	(件)					(低下) 対前年度 目標達成度 (低)

指標	不法投棄苦情件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	件	23		25	12	☔️
評価	(状況) 基準値と比較して2件増加しており、以前、不法投棄件数は減少しておらず、不調に推移しています。 (原因) 不法投棄巡視員による町内巡視や啓発用看板及び監視カメラの設置などの対策を行ってはいますが、住民の意識改革や周知・啓発活動等の不足が件数増加の要因と考えられます。	(件)					(低下) 対前年度 目標達成度 (低)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
101,255	101,391

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-05 ごみ処理体制の適正化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、行政、町域	基本事業がめざす姿 災害時の対応を含め、廃棄物を安全かつ適正に処理します。
--------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりの廃棄物処理費用	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	円	9,798		10,072	9,406	☔ (低下)
評価	(状況) 基準値と比較すると274円増加しており、不調に推移しています。 (原因) 宇和島地区広域事務組合環境センターの補修費に伴う分担金の増額による影響と考えられます。	(円)					対前年度 目標達成度 ■ (低)

指標	災害時の廃棄物処理について知っている町民割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	22.4		23.4	80	☁ (横ばい)
評価	(状況) 基準値と比較すると1.0ポイント増加し、ほぼ横ばい状態で推移しています。住民アンケートの結果を踏まえると目標値の3割ほどとなり、認知度が低調となっています。 (原因) 情報の発信手段がホームページへの掲載と広報誌による啓発が1回のみになっており、周知不足が要因と考えられます。	(%)					対前年度 目標達成度 ■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
105,324	109,522

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
128,495	123,044

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-02 道路環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 02-02-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業 02-02-02 国・県道の整備促進

基本事業 02-02-03 町道等の整備と維持管理

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町は、「四国8の字ネットワーク」を形成する高規格道路の空白地帯として早期整備を待ち望んでいます。津島道路「津島岩松IC～内海IC」の現況は、用地買収と並行し柏地区においては新内海トンネルの掘削に着手しています。

令和4年度に宿毛内海道路「宿毛新港～一本松」及び「御荘～内海」が新規事業化されましたが、未事業化区間として「一本松」～「御荘」が残っているため、引き続き新規事業化に向けた要望を実施します。

本町の道路実延長は、国道29km、県道155km及び町道528kmです。一方、道路改良率は、町道52.4%と県道81.3%に比べ低い水準となっています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.67 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.89 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、道路利用者、道路	町外への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。 町内の道路において安全で快適な通行ができます。

施策の成果状況と評価

指標	愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	分	130		130	130	(横ばい)
評価	(状況) 愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間は130分で平成30年度から所要時間の変更はありません。 (原因) 四国横断自動車道の津島道路「津島岩松IC～内海IC」間は、平成28年度から用地買収と並行して柏地区等で道路本線となる橋梁・トンネル工事など本格的な工事に着手していますが、新規開通区間がなかったことによるものです。						対前年度 目標達成度 (達成)

指標	町内の道路環境の満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	69.7		63.1	71.0	(低下)
評価	(状況) 町内の道路環境の満足度は、63.1%で基準値を6.6ポイント下回っています。 (原因) 町道は総延長が約540kmあり、全体的な老朽化も進んでいることや地区内の人口減少や高齢化が進み、草刈り等の維持管理ができなくなった地区があること等が要因と考えられます。						対前年度 目標達成度 (低)

施策のコスト(千円)

R03	R04
666,520	541,938

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、道路利用者、四国横断自動車道	町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間が短縮され、快適で安全な通行ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	%	86.8		88.6	90.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合は88.6%で、基準値と比較し1.8ポイント上回っています。</p> <p>(原因) 宿毛内海道路「宿毛新港～一本松」と「御荘～内海」が令和4年度に新規事業化され、測量調査等の事業が進んでいることで町民の関心が高くなってきたことが考えられます。</p>						■ 対前年度
							■ 目標達成度
							■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
86,500	40,827

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-02 国・県道の整備促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
国道、県道道路利用者	道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	国道・県道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		上がると良い指標 【建設課】	%	70.8		65.0	72.0
評価	(状況) 国道・県道の道路満足度は65.0%で基準値を5.8ポイント下回っています。 (原因) 本町は、四国西南地域の中で、国・県道整備が遅れており、産業や経済面の面で立ち遅れを余儀されていますが、国・県道の整備事業に対し、町民の遅延意識が高くなっていると考えられます。						対前年度

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
15,318	13,598

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
107,527	102,863

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-03 公共交通の確保

施策を実現する手段

基本事業 02-03-01 町による生活交通の確保

基本事業 02-03-02 公共交通機関の利用促進

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町では、民間事業者のバス路線の一部廃止に伴い、平成18(2006)年度からあいなんバス(コミュニティバス)を運行し、公共交通の維持に努めてきました。令和4(2022)年度からは、町内8路線であいなんバスを運行しています。

人口減少等により、あいなんバスの利用者は年々減少傾向にありますが、高齢者の免許返納者数は増加しており、交通安全の面からも公共交通の重要性が高まっています。

平成18(2006)年10月の道路運送法の改正により、地方公共団体、交通事業者、住民、関係者等が地域交通のあり方を検討する地域公共交通会議の仕組みが導入されました。また、本町では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に基づき、平成26(2014)年度に愛南町地域公共交通網形成計画を策定しました。

令和2(2020)年11月の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、地域公共交通網形成計画から改称された地域公共交通計画の策定が求められ、本町では令和5年度に計画を策定しました。現在は当該計画に基づき、地域の実情に応じた持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.63(2.95)	---(---)	---(---)	---(---)	
重要度	3.80(3.67)	---(---)	---(---)	---(---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町内の移動に困る方が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	町内での移動に困らない世帯割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	82.2		85.0	80	☀️ (向上)
	【総務課】	(%)					対前年度
評価	(状況) 令和4年度は85.0%で、町内での移動に困らない世帯割合は高い状況です。 (原因) 自家用車の利用が中心であることや、公共交通(バス、タクシー)を利用して移動手段を確保できているためだと考えられます。						目標達成度
							🏰 (達成)

施策のコスト(千円)

R03	R04
125,020	132,038

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-01 町による生活交通の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 需要に合わせた効果的・効率的で持続可能な交通手段を確保します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町営の交通手段の年間利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	人	36,725		59,296	45,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度は59,296人で、前期目標値を大きく上回りました。 (原因) 令和4年度から運行路線数が6路線から8路線に増加(新設2路線、延伸1路線)したことにより、利用者数が増加したものと考えられます。						☀️ 対前年度 目標達成度 🏰 (達成)
指標	町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	円	3,833		7,270	7,000	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和4年度は7,270円で、前期目標値をやや下回りました。 (原因) 令和4年度から運行路線数が6路線から8路線に増加(新設2路線、延伸1路線)したことにより運行経費が増加し、燃料高騰により燃料費がかさんだことも影響したと考えられます。						☔️ 対前年度 目標達成度 🏠 (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
61,980	84,406

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-02 公共交通機関の利用促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、民間事業者	基本事業がめざす姿 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町内を運行する民間運行バスの年間利用者数	人	209,447		192,544	175,000	(低下) 対前年度 目標達成度 (達成)
	上がると良い指標 【総務課】	(人)					
評価	(状況) 令和4年度は192,544人で、前期目標値を上回りました。 (原因) 運行路線数は減少しましたが、コロナ禍による外出自粛が緩和されたことにより利用者数が増加したのと考えられます。						

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町内を運行する民間運行バスの平均乗車率	%	5.21		10.95	24.0	(向上) 対前年度 目標達成度 (低)
	上がると良い指標 【総務課】	(%)					
評価	(状況) 令和4年度は10.95%で、基準値からは向上していますが、前期目標値には13.05ポイント下回りました。 (原因) 令和3年度末に乗車率の低い路線の運行が廃止されましたが、半年間の乗車実績が加味されたため目標値には及ばなかったものと考えられます。						

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額	円	5,322		4,785	2,000	(向上) 対前年度 目標達成度 (低)
	下がると良い指標 【総務課】	(円)					
評価	(状況) 令和4年度は4,785円で、基準値からは向上していますが、前期目標値には大きく下回りました。 (原因) 令和3年度末に乗車率の低い路線の運行が廃止されましたが、半年間の乗車実績が加味されたため目標値には及ばなかったものと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
63,040	47,632

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-04 安定的な水道水の供給

施策を実現する手段

基本事業 02-04-01 安定的な給水の推進

基本事業 02-04-02 経営の安定化

基本事業 02-04-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業 02-04-04 安全な給水の推進

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

総務省から将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が求められ、本町におきましては平成29年3月に平成28年度版「経営戦略」を策定しました。（計画期間：平成29年度～令和8年度）

5年毎に見直しを行う必要があることから、平成28年度版「経営戦略」について更新を行い、令和4年度から10年を計画期間とする令和3年度版「経営戦略」を策定しています。（計画期間：令和4年度～令和13年度）

給水人口の減少を受け、水道料金収入は年々減少傾向にある中、災害時でも安定した水道水の供給を維持するため、老朽化した施設や管路の更新・耐震化が求められています。安全な水を持続して供給し町民が安心して住み続けられるよう、「経営戦略」では、健全な事業運営に必要な財源の確保のため水道料金収入の適正化を行うこととしています。

「経営戦略」のもと、投資計画においては、施設、設備の廃止・統合（ダウンサイジング）や合理化（スペックダウン）等について取り組みます。また、財政計画においては、料金、企業債等財源の適正化を図ります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.57 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.34 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

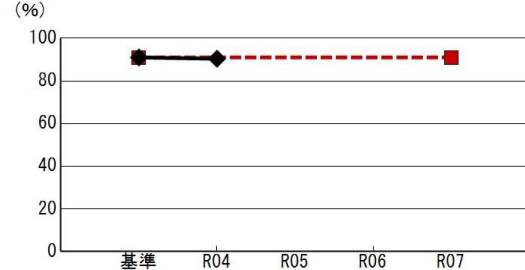
施策 02-04 安定的な水道水の供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
愛南町営水道の給水区域内の町民	安定的に「安心・安全な水道水」を利用することができます。

施策の成果状況と評価

指標	水道水に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	91.0		90.4	91.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和4年度は90.4%で総合計画基準値より0.6ポイント減少しましたが、概ねの町民が水道水の水質や水圧に満足しています。</p> <p>(原因) 清浄で低廉な水が求められる中、料金は上昇傾向にあります。水質や水圧のサービスと料金が見合わない等の声もありますが、老朽管及び水道施設の継続的な更新事業を行っているため長期間にわたる給水不良等の不具合はなく、また、水質基準に適合した水の供給に努めていることから、「安心・安全な水道水」として町民からの認識が維持できていると考えられます。</p>	(%)					対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)



施策のコスト(千円)

R03	R04
271,199	326,536

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-01 安定的な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	水道施設	基本事業がめざす姿
		老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水できています。 有収率の向上により、施設維持管理費が低減できます

基本事業の成果状況と評価

指標	有収率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水道課】	%	76.0		72.0	76.5	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 令和4年度は72.0%で、総合計画基準値より4.0ポイント減少しており、改善には至っていません。</p> <p>(原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査により、有収率向上の取組を継続して行っていますが、施設設備の修繕完了に不測の日数を要したことや、高度経済成長期に集中整備された水道管の多くが法定耐用年数を経過したことで老朽化による漏水が増加したことが原因です。</p>					対前年度 目標達成度 ■■■ (高)	

指標	突発的な断水件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【水道課】	件	60		71	45	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 令和4年度は71件で、総合計画基準値より緊急な断水が11件増加しており、改善には至っていません。</p> <p>(原因) 老朽化した水道管の更新及び、漏水調査委託等の漏水解消にかかる取組を行っていますが、法定耐用年数を経過した水道管の漏水が増えたことが原因です。</p>					対前年度 目標達成度 ■■■ (低)	

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-02 経営の安定化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 給水区域内の町民、水道事業者	基本事業がめざす姿 水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立できています。
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	公営企業会計における経常収支比率（一般会計基準外繰入金を除く。） 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和4年度は72.13%で、総合計画基準値より10.22ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因) 給水人口の減少及び節水機器の普及の影響を受け、料金収入は減少傾向にあり、経常収益は基準値年度比27,400千円減の515,993千円となったことが原因です。	(%)	82.35		72.13	80.00	(低下) 対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

指標	料金収納率 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和4年度は98.5%で、総合計画基準値より0.3ポイント減少していますが、目標値に近い水準で推移しています。 (原因) 水道料金未納者に対する戸別訪問の実施や電話連絡による未納の通知、また、毎月の支払督促及び給水停止の業務を行っていることが成果の維持に結びついたと考えられます。	(%)	98.8		98.5	98.8	(横ばい) 対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
254,413	308,254

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 水道施設	基本事業がめざす姿 管路の耐震化、主要浄水場への自家発電の整備により、地震・災害時の断水等の被害を最小限にとどめます。
-----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
管路の耐震化率 上がると良い指標 【水道課】	%	29.0		30.4	31.9	☀️ (向上)
評価 (状況) 令和4年度は30.4%で、総合計画基準値より1.4ポイント増加し、管路の耐震化率は順調に推移しています。 (原因) 毎年度耐用年数の到来した水道管を耐震管更新事業として計画的に実施しており、令和4年度は3,914.60mの更新を行ったことが成果の向上に結び付いたと考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)
浄水・送水施設における自家発電設備設置割合 上がると良い指標 【水道課】	%	75.0		77.8	87.5	☁️ (横ばい)
評価 (状況) 令和4年度は77.8%で、総合計画基準値より2.8ポイント増加していますが、令和3年度より自家発電設備の設置数を見直したことによるものです。 (原因) 令和4年度末において主要な浄水場等9施設の内、7施設については自家発電設備の設置を完了し、災害等による停電時においても一定時間の給水が可能となりました。(設置済7施設 / 主要浄水場9施設 = 77.8%) 今後も、未設置の主要な配水池に自家発電設備を設置する計画としています。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-04 安全な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
浄水水質	清浄で安全な水道水を利用できます。

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	浄水場の施設維持管理上の不具合件数	件	0		0	0	☀️ (向上) 対前年度 目標達成度 🏰 (達成)
	下がると良い指標 【水道課】	(件)					
評価	<p>(状況) 令和4年度は0件で、総合計画基準値から引き続き0件を維持しており、安定的な水道水の供給を図ることができました。</p> <p>(原因) 職員による日々の浄水施設点検業務に加え、専門技術を有する委託業者による浄水施設保守業務を実施してきたことが、施設異常の早期発見・早期改善につながり、成果の向上に結びついたと考えられます。</p>						

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数	件	0		1	0	☔️ (低下) 対前年度 目標達成度 ■ (低)
	下がると良い指標 【水道課】	(件)					
評価	<p>(状況) 令和4年度は1件で、総合計画基準値より1件増加しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 太田浄水場配水区域内の水道水から、基準値を超える塩素酸が検出されました。塩素酸は消毒剤として使用する次亜塩素酸ナトリウムの長期貯蔵による経時劣化が原因の物質です。直ちに薬液の交換、施設等内の水道水の抜き替え作業を行ったことにより、基準値内に回復しました。現在は、薬品貯蔵量を見直し、保管期間の短縮を図っています。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
16,786	18,282

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-01 水産業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業 03-01-06 持続可能な漁業の推進

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

漁船漁業において、黒潮の蛇行や台風の到来により日本近海に来るカツオが減少しています。まき網漁業も台風の到来を始めとする異常気象の影響で水揚げ量が減っています。

養殖業においては、魚類養殖業では魚価の安値が続いている状況が続いています。真珠・真珠母貝養殖については、アコヤ貝の大量死が続いていますが、関係機関と連携し原因が特定され、大量死を軽減できる時期の種苗生産を行うための種苗生産施設の改修を行うことで生産力と生産効率を向上して種苗を増産し大量死対策を実施しました。

漁港及び漁港海岸施設の整備については、漁業者の減少や高齢化が進むなか、いかに住みやすく働きやすい環境づくりの推進が不可欠であります。その為、併せて老朽化した漁港・漁港海岸施設等の長寿命化対策を推進し、機能の維持・保全を計画的に実施することにより戦略的に施設の維持管理・更新を図ります。また今後、激甚化が懸念される台風・集中豪雨等に対する防災・減災対策に取り組み、災害に強い基盤づくりを推進する必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.25 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.62 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>漁業者、町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>漁業経営の安定化及び持続可能な水産業が推進されています。</p>
----------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	漁業生産額	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	百万円	18,133		-	21,000	
評価	<p>【水産課】</p> <p>(状況) 港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で魚価が低迷したことにより近年、漁業生産額が低迷しており、令和4年度も影響が続いていることが見込まれます。</p>					<p>比較不可</p> <p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■</p> <p>(低)</p>	

指標	漁業経営体数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	経営体	490		-	500	
評価	<p>【水産課】</p> <p>(状況) 港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。 (原因) 高齢化や後継者不足の問題による廃業により横ばいもしくは、減少傾向にあると考えられます。</p>					<p>比較不可</p> <p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■</p> <p>(低)</p>	

施策のコスト(千円)

R03	R04
1,168,295	753,967

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>漁業者、漁協、町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率が高まっています。高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。災害に強い強靱な施設が維持をされています。</p>
---------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	漁港・海岸施設の漁船最多利用率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【水産課】	%	103.9		96.4	90.0	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和4年度の漁港・海岸施設の漁船最多利用率については、96.4%で基準値と比較し7.5ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 基準年である令和2年度の数値と比較した場合、新型コロナウイルス感染症による行動制限が漁業活動に影響を与えたと考えられます。</p>						☂ (対前年度)
							☑ (目標達成度)
							🏰 (達成)

指標	漁港・海岸施設の施設災害発生件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【水産課】	件	0		1	0	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 令和4年度の漁港施設災害復旧事業の実施は1件となりました。災害査定及び工事発注から完成までの工事監理について適切に対応し、災害発生から1年以内に施設の機能復旧を図りました。</p> <p>(原因) 令和4年1月22日に日向灘沖を震源とする震度4の地震が発生し、震源からの距離が近かった福浦漁港の岸壁が被災しました。しかしながら同漁港内の他の漁港施設については、日常からの適切な管理体制により被災は確認されませんでした。</p>						☁ (対前年度)
							☑ (目標達成度)
							▬ (中)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
954,095	436,731

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 住民、消費者	基本事業がめざす姿 ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する理解が進み、魚の消費が拡大します。 ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	ぎょしょく教育に参加した延べ人数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	人	5,251		2,510	5,000	☔ (低下)
評価	(状況)令和4年度のぎょしょく教育に参加した延べ人数は2,510人で、目標値と比較し2,490人少ない状況です。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響による人流抑制等により出前事業の実施が困難な状況になったことが低下の原因ですが、人流抑制も一部緩和されたことで回復傾向にあります。					対前年度	
		目標達成度 ■■■ (中)					
指標	公共施設の給食における地元水産物の利用額	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	千円	22,493		24,790	30,000	☁ (横ばい)
評価	(状況)令和4年度の公共施設の給食における地元水産物の利用額は24,790千円で、目標値と比較し5,210千円少ない状況です。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響による魚価の低迷等の影響が一部ありますが、回復傾向にあります。					対前年度	
		目標達成度 ■■■ (高)					
指標	漁協直販増加額	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	千円	501,998		477,564	550,000	☔ (低下)
評価	(状況)令和4年度の漁協直販増加額は477,564千円で、目標値と比較し72,436千円少ない状況です。 (原因)新型コロナウイルス感染症による飲食店向けの需要の低下と魚価が低迷したことが原因であると考えます。また、もじゃこの不漁によりブリの売り上げが大幅に減少したことも原因です。					対前年度	
		目標達成度 ■■■ (低)					

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
11,673	9,575

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者、漁協、大学、行政、企業等	基本事業がめざす姿 関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	共同開発研究をした延べ件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	件	14		12	15	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度の共同研究者数は12件であり、基準値と比較して2件少ない状況です。 (原因) 令和3年度まで継続していたヒジキ養殖が、環境変化などにより生育不良が続き利益に結び付かなかったため、令和4年度にヒジキ養殖を辞めたことが原因です。	(件)					対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)

指標	市場で付加価値が高い水産物数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	種	4		4	5	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度の水産物は4種であり、愛媛県、愛媛大学、水産関係者等と共同連携し、事業を推進しています。スマに関しては付加価値を高めるため、種苗の質を高める試験を県が継続している他、養殖現場ではペレット給餌試験を実施しています。 (原因) 水産物の高付加価値化やブランド化には時間を要するため、ほぼ横ばい状態が続くと思われます。	(種)					対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
15,604	36,265

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者	基本事業がめざす姿 地域漁業を担う漁業者を育成します。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町内の漁業従事者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	%	8.1		7.6	8.2	☁️
評価	(状況) 令和4年度の漁業従事者数は、1,479人で、町内の漁業従事者数の占める割合は7.6%となり基準値の8.1%に対して、0.5ポイント低下しています。 (原因) 高齢化及び後継者不足による廃業などにより従事者数の横ばいもしくは低下が原因であると考えます。	<p>(%)</p> <p>10 8 6 4 2 0</p> <p>基準 R04 R05 R06 R07</p>					(横ばい) 対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
62	83

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-06 持続可能な漁業の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>漁業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>カーボンニュートラル漁業を目指し、環境負荷の軽減と資源の持続性に配慮した漁業が推進されています。</p>
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	水産エコラベル認証に基づく輸出量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	t	53.0		57.0	63.6	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和4年度の水産エコラベル認証に基づく輸出量は57tで、基準値と比較して4t上回っています。更なる増加を図るために国際認証のBAP認証を令和5年3月に取得しました。</p> <p>(原因) コーシャ認証を取得したことにより、令和4年度は基準値と比べ微増となりました。</p>						<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
2,736	5,399

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
107,272	127,292

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-02 農林業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業 03-02-02 農地の継承

基本事業 03-02-03 経営安定と産地化の推進

基本事業 03-02-04 農地の保全・農村環境の整備

基本事業 03-02-05 新たな森林管理システムの推進

基本事業 03-02-06 農業地域資源を活用した農作物の高付加価値化

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

農林業を取り巻く環境は、農林畜産物価格の低迷及び資材価格の高騰のほか、鳥獣被害や災害リスクの増加など厳しい状況が続いています。また、営農環境では、地域農業の担い手の高齢化による労働力不足により、農作業等の負担や危険性が拡大しているため、後継者を始めとする新規就農者等の担い手の確保が課題となっています。

これらの課題を解消するため、将来の地域農業のあり方を地域で作り上げる地域計画等に基づき、意欲ある経営体や集落営農組織の育成、効率的な農地集積の推進及び鳥獣被害防止支援を組み合わせた適正な農地管理と併せて、安定した収入の確保に向けた農林畜産物の産地化や高付加価値化に取り組んでいく必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.97 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.63 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象 農林業者、農地、農業用施設、森林、町民	施策がめざす姿 自然環境に配慮しつつ、地域特性を活かした安心安全な農林産物の安定生産及び販売が行われ、付加価値が向上することにより所得が向上します。
-------------------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	農業産出額	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	千万円	233		243	233	☀️ (向上)
評価	(状況) 主として果実の算出額が堅調に増加しています。 (原因) 柑橘を中心に振興品目への改植が進んだことによる樹園地面積当たりの高収益化のほか、ふるさと納税の需要の増大により柑橘販売量が増加したことが要因と考えます。	(千万円)					☀️ (向上) 対前年度 目標達成度 🏠 (達成)
指標	林業素材生産量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	m3	7,407		5,946	10,000	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度に比べ、素材生産量は2,157m3減少し、目標値には達成していません。国有林の生産量は激減していますが、それ以外の民有林、県営林等は順調に推移しています。 (原因) 高性能林業機械等が導入され、集積作業が効率的に行えるようになったことが、国有林以外の成果向上に結びついたと考えられます。	(m3)					☁️ (横ばい) 対前年度 目標達成度 🚫 (中)
指標	耕作面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	1,383		1,338	1,383	☔️ (低下)
評価	(状況) 基準値に対して45haの減となっており、減少傾向にあります。 (原因) 高齢化や後継者不足等により、新たに耕作放棄地が増加したことが原因と考えられます。	(ha)					☔️ (低下) 対前年度 目標達成度 🚫 (低)

施策のコスト(千円)

R03	R04
666,027	616,736

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-02 農地の継承

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、農地	基本事業がめざす姿 持続的な農業推進のために、農地が継承されています。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	新規利用権設定数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	件	0		61	296	(横ばい)
評価	(状況)令和4年度の利用権設定数は61件で、目標設定根拠の件数を概ね達成している状況です。 (原因)年によってばらつきはありますが、高齢化等により担い手の労働力確保が困難になっており、経営面積の拡大が進んでいないことが原因と考えます。	(件)					対前年度 目標達成度 (中)

指標	農地利用集積面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	300		356	300	(向上)
評価	(状況)令和4年度に地域の担い手へ集積している面積は356haとなっています。 (原因)高齢化等により自ら耕作することが困難となる農業者の増加が原因と考えます。	(ha)					対前年度 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
564	515

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-03 経営安定と産地化の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 経営安定のための各種支援が活用され、産地化が進み、農業経営が継続されています。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	産地化、高付加価値化を進める農産物（野菜）の作付面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	36.3		41.4	40.0	☀️ (向上)
評価	(状況)産地化、高付加価値化を進める農産物（野菜）の作付面積は41.4haで、総合計画基準値より5.1ha増加し、目標値を達成しています。 (原因)特に大きな要因として、新型コロナウイルスに伴う支援事業として高収益作物次期作支援交付金事業の実施により、ブロッコリーの作付け面積が増加したことが考えられます。	<p>Y-axis: (ha) 0 to 50. X-axis: 基準, R04, R05, R06, R07. Data points: 基準(36.3), R04(41.4), R07(40.0). A red dashed line indicates the target path.</p>					☀️ (向上)
							☀️ (達成)

指標	産地化、高付加価値化を進める農産物（柑橘）の作付面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	449.7		451	450.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和3年産柑橘の栽培面積は451haとなっており、町内の主要品目である柑橘の栽培面積は維持されています。 (原因)果樹経営支援対策事業等を活用し改植等を進めることで、優良園地として栽培が継続されていることが要因と考えます。	<p>Y-axis: (ha) 0 to 500. X-axis: 基準, R04, R05, R06, R07. Data points: 基準(449.7), R04(451), R07(450.0). A red dashed line indicates the target path.</p>					☁️ (横ばい)
							☁️ (達成)

指標	水田の有効活用面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	24.4		25.4	28.0	☔️ (低下)
評価	(状況)産地交付金の対象としている高収益作物の栽培面積は25.4haであり、特にJAえひめ南の推進するブロッコリーが中心となっています。 (原因)経営所得安定対策のうち産地交付金を活用して産地化に向けた支援を行っていることも、面積拡大に向け取り組みやすい環境整備につながっていると思われます。	<p>Y-axis: (ha) 0 to 30. X-axis: 基準, R04, R05, R06, R07. Data points: 基準(24.4), R04(25.4), R07(28.0). A red dashed line indicates the target path.</p>					☔️ (低下)
							☔️ (中)

指標	セーフティネット加入経営数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	件	422		331	422	☔️ (低下)
評価	(状況)基準値と比較し、収入保険事業の加入者は9名増加し、農業共済事業の加入者は100名減少しました。 (原因)収入保険事業の加入件数が増加したことは、災害やコロナ感染症による収入減少等の経営リスクへ備える制度として周知が図られたことが要因と思われます。農業共済事業の加入件数の減少については、高齢化等から離農する小規模経営農業者の農地を担い手へ集積したことも一因と考えられます。	<p>Y-axis: (件) 0 to 500. X-axis: 基準, R04, R05, R06, R07. Data points: 基準(422), R04(331), R07(422). A red dashed line indicates the target path.</p>					☔️ (低下)
							☔️ (低)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
14,426	13,773

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-04 農地の保全・農村環境の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、農地、農業用施設	基本事業がめざす姿 適正な農地管理、鳥獣被害軽減及び生産性が高い農地や農道、水路、防災重点ため池の整備がされています。
--------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	鳥獣被害面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	ha	11.97		10.43	10.00	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度の鳥獣被害面積は10.43haで、前期基準値と比較し1.54ha減少し、鳥獣による農作物被害が減少し順調に推移しています。 (原因) 鳥獣侵入防止柵の設置や猟友会及びびわなの会の協力による捕獲の効果が鳥獣被害の減少に結び付いたと考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)
指標	農業施設整備完了割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	91.4		90.8	100	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度における地区要望・整備計画における農業施設整備完了割合は90.8%となっており、前期基準値に比べてほぼ横ばいとなっています。目標値には及ばないものの、高い水準を維持しています。 (原因) 令和4年度地区要望・整備計画の工事における5件の工事実施について、令和5年度に実施することとしたことが主な原因です。令和5年度の工事完了により農業施設完了割合は100%となります。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
413,770	374,341

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-05 新たな森林管理システムの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>林業者、森林</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>森林経営管理制度と森林環境譲与税を両輪とした新たな森林管理システムを推進し、林業事業者の事業量と担い手が安定確保されています。</p>
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	間伐面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	110.0		70	130	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 前年度に比べ、間伐量は40ha減少し、目標値に達成していません。</p> <p>(原因) 労働力不足による間伐量の低下が考えられます。</p>						<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>

指標	林業従業者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	人	28		25	35	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度から1名減少しており、後期目標値に到達していません。</p> <p>(原因) 高齢による離職及び新規林業従事者の確保が出来ていないことが原因だと考えます。</p>						<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
117,232	102,163

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-06 農業地域資源を活用した農作物の高付加価値化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>農業者、町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>河内晩柑をはじめとする愛南産農産物やグリーンツーリズムの取組等、魅力ある愛南町の情報を発信し、愛南のファンが増加しています。</p>
------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	愛南ゴールド等販売促進部会における河内晩柑等の販売額	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	万円	120		556	300	☀️ (向上)
評価	(状況) 愛南ゴールド等販売促進部会における河内晩柑の販売額は前年対比281万円増の556万円であり、目標値を達成しています。 (原因) これまで継続的に行ってきた河内晩柑のPR活動が徐々にではあるものの確実に実を結んでいるということが根底にあると考えますが、事業者に対するサンプル提供や商談での積極的な姿勢が新規取り引きにつながりました。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

指標	河内晩柑の果汁及び果皮の販売額（委託搾汁分）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	千円	4,460		4,460	7,000	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和元年度に策定した「柑橘加工施設整備に関する基本計画」の妥当性を検証するため、河内晩柑の委託搾汁事業を実施していますが、事業開始2年目の令和4年度の河内晩柑果汁及び果皮の販売額は4,460千円で、目標値未達となっています。 (原因) 河内晩柑自体の知名度が低い状況にあるなかで、その果汁や果皮の販路開拓及び顧客獲得は容易ではなく、思うような受注が得られなかったことが原因です。						☁️ (横ばい)
							☁️ (横ばい)

指標	グリーン・ツーリズム等の体験提供イベント参加者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	人	130		72	143	☔️ (低下)
評価	(状況) グリーン・ツーリズム体験提供イベントを4回実施しましたが、参加者数は72人ととどまり未達成となりました。 (原因) 夏休み期間中に大規模なイベント開催を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、イベント開催を中止したことが目標未達成最大の原因です。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)

指標	ホームページやSNSを活用した情報発信数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	件	74		62	96	☔️ (低下)
評価	(状況) 町ホームページとFacebookの2つの媒体で毎月2回の情報発信を目標としましたが、達成できませんでした。 (原因) 他業務に手を取られて回数をこなせなかったこと、発信すべき有益な情報がなかったことが原因として挙げられます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
19,979	16,529

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
88,530	92,602

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-03 商工業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-03-01 経営面の支援強化

基本事業 03-03-02 創業・事業承継への支援

基本事業 03-03-03 企業誘致・留置の推進

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の商工業者数は、近年減少傾向となっています。商工業者の8割以上が従業員数5人以下等の小規模事業者であり、事業主の高齢化や後継者不足等が廃業につながりやすいことが主な要因となっています。そのような状況の中、新たなビジネスの創業支援や事業承継といった課題に取り組み、地域産業を維持していくことが求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.80 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.64 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

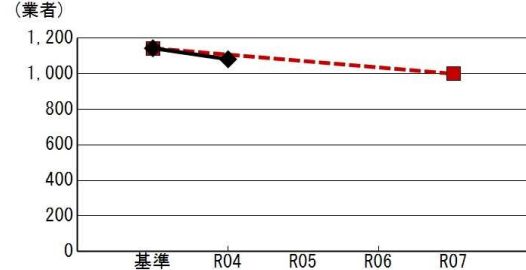
施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
商工業者	商工業者の生産性や販売力が強化されることにより、事業活動が継続され、地域が活性化しています。

施策の成果状況と評価

指標	町内の商工業者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		業者	1,144			1,082	1,000

(状況) 町内の商工業者数は1,082業者で、総合計画基準値より62業者減少しており、推計通りの減少傾向となっています。
 (原因) 事業承継や新規創業が少なく、事業主の高齢化による廃業が進み、町内の商工業者数が減少したことが原因です。



施策のコスト(千円)

R03	R04
248,582	262,610

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-01 経営面の支援強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>中小企業者及びその他法人</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>中小企業者等の経営力が向上し、その経営が安定しています。</p>
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	黒字化している事業所（町民税の法人税割課税事業所）割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	%	35.7		65.4	38.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 黒字化している事業所割合は65.4%で、総合計画基準値より29.7ポイント上回り、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 事業者の業績が上がり、課税事業者の割合が増加したことが主な要因と考えられます。</p>						☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ☀ (達成)

指標	町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業者数（基本計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	業者	2		11	60	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業者数は11業者で、総合計画基準値より9業者多いですが、目標達成度は低い状況となっています。</p> <p>(原因) 町の経営支援制度を活用して、生産性向上等に取り組む事業者が少ないことが原因です。</p>						☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ■ (低)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
188,188	201,801

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-02 創業・事業承継への支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 中小企業者	基本事業がめざす姿 地域資源を活かした起業が行われるとともに、事業承継により事業活動が継続されています。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	新規に法人化した事業者数（基本計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	上がると良い指標 【商工観光課】 （状況）新規に法人化した事業者数は9業者で、総合計画単年度目標値約4業者と比較して5業者多く、単年度目標値を達成しています。 （原因）業績が良く、法人成りした事業者が多く設立されたことが主な要因です。	業者	11		9	15

年度	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)
基準	11			
R03		9		
R04			9	
R07				15

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
0	0

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-03 企業誘致・留置の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>製造業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業又は宿泊業を営む事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>町内に企業が進出するとともに、進出した企業が留まっていることで、雇用が拡大し、地域が活性化しています。</p>
---	---

基本事業の成果状況と評価

指標	企業の誘致・留置件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	<p>上がるの良い指標 【商工観光課】</p> <p>(状況) 企業の誘致・留置件数はこれまで5件と、令和4年度に新たな企業誘致の動きはありませんでした。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響がまだ残っており、誘致活動が制限されたことも原因の一つと考えられます。</p>	件	5		5	6

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
3,201	3,224

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
57,193	57,585

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-04 観光・物産の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の年間観光客数は、平成28（2016）年度は1,231千人ありましたが、令和2（2020）年度には新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により790千人と約36%減少しています。今後は、観光に携わる町内事業者との連携を強化し、民間活力を取り入れた効果的な観光イベントの実施など、観光資源のPRや受け入れ態勢の充実を図り、町の魅力が十分に発信できる環境づくりに取り組みます。

近年、観光を取り巻く状況は、国内観光等のマイクロツーリズムを主体として、新たな観光需要に対応することが求められています。町観光協会の機能を充実・強化することにより、ニューノーマルな視点での観光プログラムの造成、情報発信力や広域連携による誘客機能の向上を図り、まちづくりの情報発信拠点となるよう取り組んでいきます。

本町の魅力を広く発信し、町内に点在する地域資源を利活用しながら、観光・物産振興に対する町民の理解を深め、町民が地域への誇りと愛着を持つことができる、活力に満ちた地域社会の実現を目指します。また、ふるさと納税や統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の活用により、特産品等のブランド力の向上を図ります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.76 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.78 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
観光客	地域の魅力を理解し、愛南町を好きな方が増加するとともに、多くの観光客が訪れます。

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客数(入込客数)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	上がると良い指標 【商工観光課】 (状況) 基準値に比べ、156,622人増加しているものの目標値には大きく届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、イベント開催数等も増加しており、このため観光客も増加したと考えられます。	人	790,032		946,654	1,500,000

項目	数値
基準	790,032
R04	946,654
目標 (R07)	1,500,000

施策のコスト(千円)

R03	R04
772,168	920,706

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>特産品、観光スポット</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>地域の資源（特産品や観光スポット）を活かしたイベントやふるさと納税事業の実施により、誘客の促進と特産品が全国に認知されます。</p>
----------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		人	11,286		17,938	100,000	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 基準値に比べ、6,652人増加しているものの目標値には大きく届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、イベント開催数も増加しており、このため参加人数も増加しました。</p>						☀️ 対前年度
							■ 目標達成度 (中)

指標	町が実施又は支援する観光・物産振興イベントの開催回数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		回	2		19	25	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 基準値に比べ、イベントの実施回数も17回増の19回と増加しているものの目標値には大きく届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、イベント開催数も増加しました。</p>						☀️ 対前年度
							■ 目標達成度 (中)

指標	ふるさと納税の寄附件数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	16,336		128,868	100,000	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 基準値を112,532件、目標値28,868件上回り好調に推移しています。 (原因) 返礼品数の増加及び積極的なPR、並びにふるさと納税市場の拡大によるものと考えられます。</p>						☀️ 対前年度
							🏰 目標達成度 (達成)

指標	ふるさと納税の返礼品登録数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		品	320		1,006	700	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 基準値を686件、目標値を306件上回り好調に推移しています。 (原因) 令和4年度からのふるさと納税事業の業務委託により、同社と連携した新規返礼品開発が可能になったことが要因と考えます。</p>						☀️ 対前年度
							🏰 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
403,741	615,291

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民、民間企業	基本事業がめざす姿 具体的な効果のあるブランド、PRを充実させ、観光協会、旅行会社等と連携することにより、観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらうための情報発信を行います。
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町ホームページ内の観光ページへのアクセス件数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	20,846		24,202	30,000	☀ (向上)
評価	(状況) 基準値のアクセス件数と比較すると、3,356件増加していますが、目標値には届いていません。 (原因) 内容の充実を図り、イベントや観光・物産のPRを行ったことで、基準値よりアクセス件数が増加したと考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	目標達成度	■ (高)			

指標	町及び観光協会の公式SNSフォロワー数及び登録者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		人	1,167		1,758	1,300	☀ (向上)
評価	(状況) 目標値に対し、458人増の1,758人とフォロワー数が増加しており、目標を達成しています。 (原因) SNSの投稿を週一回以上を目標に実施しており、これにより、フォロワー数が増加したと考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	目標達成度	☀ (達成)			

指標	統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の利用登録件数(基本計画期間累計) 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	11		12	22	☀ (向上)
評価	(状況) 基準値11件に比べ、1件上回り好調に推移していますが、目標値には届いていません。 (原因) ロゴマーク等活用支援事業補助金制度を事業者同士で情報共有されていることで周知され、微増で推移しています。						☀ (向上)
		対前年度	目標達成度	■ (中)			

指標	新聞、テレビ、雑誌等及びSNS等へのリリース・情報発信件数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	26		46	30	☀ (向上)
評価	(状況) 基準値に対し、20件増の46件の情報発信を実施しており、目標値も大きく上回って達成しています。 (原因) SNSを活用した情報発信を多く実施したことにより、大きく目標値を達成できました。						☀ (向上)
		対前年度	目標達成度	☀ (達成)			

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
22,353	45,445

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>行政、町民、民間企業</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー・ルート作りをして、魅力の向上を図り、多くの方が訪れます。</p>
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	観光施設の利用支障件数（修繕件数）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【商工観光課】	件	25		16	20	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 基準値に対し、本年度は16件となり、目標値以下で達成できています。</p> <p>(原因) 各施設と連絡を密にし、初期段階で状況を確認し対策することで施設の不具合箇所の影響拡大をある程度抑えることができました。今後も早期対応に努める必要があります。</p>	(件)					☁ (対前年度)
							■ (目標達成度)
							🏰 (達成)

指標	観光資源を活用した体験メニュー数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【商工観光課】	件	2		1	10	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 目標値の2メニューに対し、1メニューとなっており目標値に届いていません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、体験メニューの充実を図り、誘客に努めたいと思います。</p>	(件)					☁ (対前年度)
							■ (目標達成度)
							■ (中)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
324,136	223,037

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
21,938	36,933

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

施策を実現する手段

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業 03-05-02 労働人材の確保

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化に伴って生産年齢人口が減少し、町内の従業者数も減少が続いています。このような状況の中、求人募集事業者と求職者のニーズが一致しない、いわゆる雇用のミスマッチが起こっており、愛南町就職支援センターにおける有効求人倍率も平成30（2018）年度からの3か年度平均で3.44倍と高い水準になっています。雇用関係の成立や企業誘致・留置施策による雇用の創出・維持など労働人材の確保が課題となっています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.47 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	4.05 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民及び事業者</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>雇用及び労働人材が確保されることにより、地域産業が持続し、町民が安心して働き、生活できます。</p>
-----------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	町内の従業者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	人	6,310		5,903	5,500	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 町内の従業者数は5,903人(令和3年調査)で、総合計画基準値より407人減少しており、推計通りの減少傾向となっています。</p> <p>(原因) 人口の減少、事業主の高齢化による廃業などによって生産年齢人口が減少していることが原因です。</p>					<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ ■ (中)</p>	

指標	有効求人倍率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【商工観光課】	倍	3.54		4.28	3.00	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 町内の有効求人倍率は4.28倍で、総合計画基準値と比較し0.74ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 雇用のミスマッチは従来から原因の一つとされていますが、近年ではそもそも求職活動を行う人が減少しています。就職支援センターにおける相談者数及び求人の紹介件数が減少していることも、有効求人倍率の上昇原因として挙げられます。</p>					<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ ■ (低)</p>	

施策のコスト(千円)

R03	R04
163	1,831

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民及び事業者	基本事業がめざす姿 求職者が雇用相談や各種研修などを活用することにより、雇用が促進されます。
--------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	求職者の就職割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	%	53.5		63.8	58.0	☀ (向上)
評価	(状況) 求職者の就職割合は63.8%で、総合計画基準値より10.3ポイント上回り、目標値を達成しています。 (原因) 雇用側が、人手不足に伴い採用基準のハードルを下げ、より広い範囲の求職者を雇用したこと及び新規事業者の採用による就職者の増加が主な要因です。						☀ (対前年度)
		☑ 目標達成度 (達成)					

指標	誘致・留置した企業の町内雇用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	人	238		241	250	☀ (向上)
評価	(状況) 誘致・留置した企業の町内雇用者数は241人で、総合計画基準値を3人上回り、目標値を達成しています。 (原因) 誘致・留置した企業が、労働人材の不足により採用活動を積極的に行っていることが主な要因と考えられます。						☀ (対前年度)
		☑ 目標達成度 (達成)					

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
163	831

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-02 労働人材の確保

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者及び移住者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>事業承継や町内外からの就業・起業が促進され、人材不足が解消されています。</p>
-----------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町と関係機関が連携・支援して、事業承継した事業者数及び新規参入者数(基本計画期間累計)	業者	15		7	24	(向上) 対前年度 目標達成度 (達成)
	上がると良い指標 【商工観光課】	(業者)					
評価	<p>(状況)町と関係機関が連携・支援して、事業承継した事業者数及び新規参入者数は、農林課3人、水産課2人及び商工観光課2人の計7人で、単年度目標値6に比べて1人上回り、目標値を達成しています。</p> <p>(原因)農業・水産業・商工業の各分野における補助金制度が活用されたことが要因です。</p>						

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町外向けの仕事紹介への取組数(短期、定住)	件	0		0	4	(低下) 対前年度 目標達成度 (低)
	上がると良い指標 【商工観光課】	(件)					
評価	<p>(状況)町外向けの仕事紹介への取組数は0件で、総合計画目標値4件(累積)に比べて、順調ではありません。</p> <p>(原因)令和4年度から年度単位で1件ずつの取組を想定していましたが、町外者向けに求人の情報掲載を行えなかったことが原因です。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	1,000

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業 04-01-02 ボランティア・NPO活動の推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政へ参画できる機会を提供し、その意見を町政へ反映させることにより推進されますが、町民の町政への参画はまだ十分ではない状況です。

また、人口減少や少子高齢化が進展する中、町の周辺地域においては衰退が著しい地区も発生してきています。地域コミュニティの運営・維持は、町の活性化の大きな課題となっており、地域と連携した効果的・効率的な地域コミュニティへの支援が必要な状況となっています。

時代の変化に伴い多様化していく行政ニーズに対応していくため、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携し、福祉、産業等のまちづくりに取り組む必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.51 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

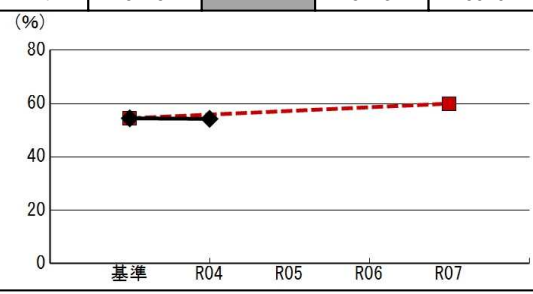
施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、行政	町民、事業者及び行政、それぞれの役割を認識し、協働の精神で連携した、自立した地域社会ができています。

施策の成果状況と評価

指標	町民、事業者及び行政が協働したまちづくりがなされていると思う町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況)令和4年度は、基準値に0.2ポイント、前期目標値に5.7ポイント届きませんでした。 (原因)コロナ禍により、事業を中止することが多かったため満足度が向上しなかったものと考えられます。	%	54.5		54.3	60.0	(横ばい)
							対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)



施策のコスト(千円)

R03	R04
196,762	200,931

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 行政区の機能が維持され、地域の運営・維持がされています。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
町民の行政区への加入率 上がると良い指標 【総務課】	%	73.4		72.7	75.0	☁️ (横ばい)
(状況) 令和4年度は72.7%で、目標値には2.3ポイント届きませんでした。 (原因) 高齢化により、これまで行政区に加入していた世帯が減少したことに加え、若い世帯や転入・転居世帯の新規加入が進まないことなどが原因として考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)
地域コミュニティ活動への参加率 上がると良い指標 【総務課】	%	31.7		42.3	50.0	☀️ (向上)
(状況) 令和4年度は42.8%で、目標値には7.7ポイント届きませんでした。 (原因) 行政区加入世帯数は70%を超えているものの、生活スタイルの変化や近隣関係の希薄化により、地域コミュニティ活動の役割が薄れてきていることが原因と思われる。しかしながら、地域コミュニティに対する若い世代と高齢世代の意識のずれ等の課題はありますが、令和4年度は、新型コロナウイルスによる規制が緩和されたことから、イベント等への参加が進んだことが向上の要因と考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)
行政区の活動継続のために行政として支援や情報提供を実施した件数 上がると良い指標 【総務課】	件	1		1	3	☔️ (低下)
自治会を行政区へ修正 (状況) 令和4年度の情報提供等の回数は1回で、行政区からの相談等はありませんでした。 (原因) 各行政区において自治的な運営を行っており、基本的に行政からの積極的な支援や指導は難しいため、相談が少なかったものと考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
52,987	59,625

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-02 ボランティア・NPO活動の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、NPO、ボランティア団体、行政	基本事業がめざす姿 多様な市民活動（NPO法人、ボランティア等）が、協働担い手として、活動できる環境となっています。
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	団体情報ファイルに記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 団体情報ファイルに記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数は19団体で、総合計画基準値と同数であり、目標達成しています。 (原因) 既存の団体が活動を維持していることが要因です。	団体	19		19	19	☁️ (横ばい)
指標	ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合は17.0%で、総合計画基準値より6ポイント向上しており順調です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で停止していた活動が再開したことが要因であると考えられます。	%	11.0		17.0	18.0	☀️ (向上)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 町の出来事や行政の情報が十分に伝わっています。
------------------	--------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町からの広報（広報紙及びホームページ）の量や内容が十分だと思う町民の割合 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	上がると良い指標 (状況) 令和4年度の指数値は90%を超えましたが、目標値には3.4ポイント届きませんでした。 (原因) ホームページや広報紙には最新のイベント情報や各課からのお知らせを掲載しましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、情報の目新しさが少なかつたため、指標値が目標まで伸びなかったと考えられます。	(%)	93.5		91.6	95.0	☁️ (横ばい) 対前年度 目標達成度 ■■ (高)

指標	広報紙を読んでいる町民の割合 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	上がると良い指標 (状況) 90%を超える町民が広報紙を読んでいると回答しており、目標は達成できていると言えます。 (原因) 町内で行われるイベントや各種行政情報の掲載など、幅広い層の読者に興味を持ってもらえる内容を意識した結果、多くの町民が求める紙面になっていると考えられます。また、FacebookやLINEなどのSNSを利用した広報紙発行情報の発信や、ホームページへの記事の掲載も、多くの町民に広報あいなを届けるための一助になっていると考えられます。	(%)	69.2		91.9	75.0	☀️ (向上) 対前年度 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
6,330	6,357

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>町の事業、施策等における計画、実施、評価及び見直しに至るまでの各過程に町民が主体的に関わることによって、町民の町政への参画を図ります。</p>
-----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
<p>公募による委員の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	%	11.4		11.4	20.0	☁ (横ばい)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和4年度は11.4%で、基準値と同じですが、目標値には届かない状況にあります。 (原因) 就業している住民にとっては日中の会議開催に参加し難い状況であること、公募可能な委員会の中にはその協議内容が未経験者にはハードルが高く、公募し難い状況にあることなどが原因として考えられます。</p>					<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>	
<p>町政に町民の意見が反映できていると感じている住民の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	%	52.8		56.4	60.0	☁ (横ばい)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和4年度は56.4%で、基準値に比べて3.6ポイント増加していますが、目標値には届かない状況にあります。 (原因) 意見表明制度への意見件数や委員の公募件数の低迷が町政への意見の反映ができていないと感じる一因であると考えられます。</p>					<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p>	
<p>意見表明制度の実施回数</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	回	9		7	10	☁ (横ばい)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和4年度の実施件数は7件で、基準値より2件減少し、目標値にも届いていない状況です。 (原因) 令和4年度には、意見表明制度の実施の対象となる計画等の件数が少なかったことが原因と考えられます。</p>					<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p>	
<p>地区要望のうち当該年度に実施した事業の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	%	68.9		55.4	75.0	☔ (低下)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和4年度は55.4%で、目標値には19.6ポイント届きませんでした。 (原因) 毎年度、多くの地区要望が寄せられていますが、限られた予算の中で全てに対応することは困難であり、優先順位の高いものから実施しているため、伸び悩んでいるものと考えられます。</p>					<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
36,128	35,780

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>町民が町政に関する情報を分かりやすく取得でき、町と町民が情報を共有することによって、町政の透明性と公平性を高めます。</p>
-----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	情報公開請求に対する不適正件数 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0		0	0	0
評価	<p>(状況) 令和4年度の情報公開請求に対する不適正件数は、0件です。基準値及び目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 情報公開請求に対して、適正に対応できているものと考えられます。</p>						(横ばい)
							目標達成度
							(達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
101,317	99,169

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-02-01 家庭の防災力の向上

基本事業 04-02-02 地域の防災力の強化

基本事業 04-02-03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業 04-02-04 災害対応力の強化

基本事業 04-02-05 防災・減災ハード対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

南海トラフ沿いで想定されるマグニチュード8から9クラスの大規模地震の発生確率は、今後30年以内に70から80%に高まっています。また、地震・津波だけでなく、豪雨による水害や土砂災害についても、全国各地に毎年甚大な被害を与えており、自治体による適切な避難情報の発令や住民が適切に避難行動をとれる支援が求められています。

一方、住民一人一人の「自らの命は自らが守る」（自助）、地域住民が連携して「地域の安全はみんなで守る」（共助）意識の向上、日頃からの備え、発災時における命を守るための主体的な行動、地域住民相互の助け合いなど、地域防災力の向上が求められています。

また、大規模災害による復旧・復興が長期化することで、人口流出や地域活力の衰退が懸念されており、事前の復興手順や体制、復興後のまちづくり計画など事前復興の取組が求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.04 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.73 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、行政	地域に密着し機能する持続可能な防災地域社会システム（防災文化）を創造することにより、町の防災力・減災力が向上し、被害が少なくなっています。

施策の成果状況と評価

指標	自然災害による死傷者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	人	0		0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 自然災害による死者数は0件で、平成25年度より0件を維持しており、順調となっています。 (原因) 町域で大規模な災害が発生しなかったことと、住民の防災意識の向上が要因です。	(人)	基準	R04	R05	R06	対前年度 目標達成度 🏠 (達成)

指標	自然災害による被害戸数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	棟	0		1	0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 床上浸水が1棟発生しましたが、建物に大きな被害は無く、順調に推移しています。 (原因) 町域で大規模な災害が発生しなかったことと、一部の河川で堤防工事が進んでいるためです。	(棟)	基準	R04	R05	R06	対前年度 目標達成度 🏢 (高)

施策のコスト（千円）

R03	R04
205,522	264,237

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-01 家庭の防災力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 一人ひとりが、日頃から災害に対する心構えを身につけ、災害に対する備えを行い、自分の命は自分で守る（自助）ことができるようになっています。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	家庭での防災対策実践項目数（全12項目における平均実践度）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	項目	3.65		3.46	7	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度の家庭での防災対策実践項目数は3.46項目で、総合計画基準値より0.19ポイント減少しましたが、町民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲と思われます。 (原因) 防災対策のうち、家具転倒防止策、防災訓練への参加の割合が低く、災害時のことが家族で話し合われていないことなどが影響していると考えられます。	(項目)					☁️ (横ばい) 対前年度 ■ 目標達成度 (低)

指標	住宅の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	%	54.3		55.0	90.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度の住宅の新耐震基準適合率は55.0%で、前期基準値より0.7ポイント増加していますが、横ばい状態です。 (原因) 耐震診断の申請件数は増加しているものの、耐震工事には至る物件が少ない状況です。耐震化率の上昇は自然的な住宅更新によるものです。	(%)					☁️ (横ばい) 対前年度 ■ 目標達成度 (低)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
3,241	6,228

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-02 地域の防災力の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 自主防災組織	基本事業がめざす姿 災害時に地域住民が連携協力し合えるよう、自主防災組織が活性化し、日頃から防災教育や訓練などを行い、自分たちの地域は自分たちで守る（共助）ことができるようになっていきます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標	訓練等を実施している自主防災組織の割合	%	19.3	22%	22%	50.0	☁️ (横ばい)
	上がると良い指標 【防災対策課】						
評価	(状況) 令和4年度は22%で、基準値より2.7ポイント増加となりました。基準値より高いものの、依然として自主防災会の約2割程度しか訓練を実施していない状況です。 (原因) 昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大の観点から訓練を行わない自主防災会があり、コロナ禍以前と比べ実施回数は少なくなっています。						☔️ (低下)
	(状況) 令和4年度は8.2%で、基準値より3.9ポイントの減少となり、低下しています。 (原因) 避難行動要支援対象者の増加（分母の増加）や新たな個別避難計画の整備ができていないことが原因です。今後は、保健福祉部局や自主防災会等と連携し、個別避難計画の整備を進めていきます。						☔️ (低下)
指標	地区防災計画を策定している自主防災組織の割合	%	0	0%	0%	50.0	☁️ (横ばい)
	上がると良い指標 【防災対策課】						
評価	(状況) 令和4年度は0%と策定が進んでいない状況です。 (原因) 訓練や防災学習の際の啓発不足が考えられます。今後は、自主防災会へ地区防災計画策定に向けた啓発・フォローを行っていき策定を進めていきます。						☔️ (低下)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
4,197	4,817

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、町全体	基本事業がめざす姿 迫りくる未曾有の危機に対する正しい知識をもち、学校・家庭・地域の連携で自分の命は自分たちで守る「生き抜く力」を育て、親から子、子から孫へと継承されていく防災地域社会システム（防災文化）ができています。
-------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	社会教育における防災教育プログラムを履修した延べ町民数 上がると良い指標 【防災対策課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和4年度は、12,601人で、基準値と比べて2,401人増加しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響下で縮小や中止されてきた学習会や訓練の機会が感染症対策を徹底することにより実施回数や参加人数が増加しています。	人	10,200		12,601	18,000	(向上) 対前年度 目標達成度 (中)
指標	義務教育課程における防災教育プログラムを履修した延べ児童・生徒数 上がると良い指標 【防災対策課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和4年度に義務教育課程における防災教育プログラムを履修し卒業した中学生は116人で、延べ2,221人となり順調に推移しています。 (原因) 各学校等において防災学習等が行われ、児童・生徒は「自分の命は自分が守る」という「自助」の意識を持ち、積極的に防災学習や避難訓練などに取り組んでいます。	人	1,945		2,221	2,400	(向上) 対前年度 目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
924	816

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-04 災害対応力の強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>行政、防災拠点施設、防災機関</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>災害発生時に迅速かつ的確な判断、指示、行動が行えるよう職員の実践的なスキルが向上し、避難後における備蓄物資や資機材など支援体制が整備されています。</p>
--------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町主催の災害対応訓練の実施回数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	回	2		2	2	☀ (向上)
評価	(状況) 町が主催する訓練を2回開催し、順調に推移しています。 (原因) 住民や行政、防災機関が合同で実施する町総合防災訓練と、県市町災害対策本部合同運営訓練(図上訓練)を実施しました。						☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ☀ (達成)
指標	指定避難所資機材等の整備率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	%	36.8		41.91	50.0	☀ (向上)
評価	(状況) 指定避難所資機材等の整備率は41.9ポイントと総合計画基準値より5.1ポイント上昇し、順調に推移しています。 (原因) 避難所開設用品を当初2施設整備の予定を10施設整備したことが上昇の要因です。						☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
10,949	18,288

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-05 防災・減災ハード対策の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町管理道ほか</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>防災・減災のための道路や砂防等の工事を行い、安全性を高めます。災害時の復旧をおこないます。</p>
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	防災・減災のハード対策が完了した件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	<p>【建設課】</p> <p>その他の指標</p> <p>(状況) 防災・減災のハード対策が完了した件数は49件の実施となり、基準値と比べては4件の増加となりました。 (原因) 梅雨前線豪雨等による災害復旧工事数が全体の2件に減少したものの、老朽危険空き家除却数が全体の30件、6割超えの対策を講じたことによるものです。</p>	件	45		49	45

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
154,390	220,991

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
31,821	13,097

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

大雨、台風及び地震による自然災害、突発的に発生する感染症対策など消防を取り巻く環境は大きく変化しています。この環境変化に対応し、消防は住民の生命、財産を守らなければなりません。そのためには、消防力の整備指針に基づき、計画的な消防車両の更新や資機材の整備を行い、職員が専門的な知識を身に付けるため各種研修を受講し、訓練を重ね多様化する災害に対応する必要があります。

また、平成27年に運用を開始した消防通信指令台の更新、修繕については費用が高額なため計画的に行う必要があります。高齢化が進む中、救急件数も年間で1,000件を超え高い水準で推移し、長時間の搬送になる管外搬送も全体の21%を占めています。このため、搬送途上での高度な処置、観察を行う必要があるため、救急救命士の養成を引き続き行う必要があります。さらに、火災を予防するため、不特定多数の人が利用する建物や高齢者が入所している施設などの予防査察を強化し、消防用設備の点検、設置状況を確認して違反等があれば是正していくことに努めます。一般住宅では住宅用火災警報器の多くが設置から10年以上経過し、電池の交換が必要になることから維持管理の啓発を推進しています。

地域防災の要である消防団では、団員数の減少や高齢化のほか団員のサラリーマン化等により、防災力が低下している地域も見られます。このため、少ない団員数で災害対応可能な資機材等を導入するほか、新規団員の確保と現役団員の退団等を防ぐため、団員の報酬や出勤手当等の処遇改善を行っています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.19 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象 町民、消防団、消防職員	施策がめざす姿 施設及び人員を活用して、生命、身体及び財産を守り、被害を軽減することによって、安心安全な町になります。
-----------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	1万人当たりの火災発生件数 下がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	5.39		7.5	2	☂ (低下)
評価	(状況) 令和4年度に発生した火災は、建物火災5件、林野火災0件、その他の火災10件で合計15件の火災が発生しました。令和4年4月1日現在の愛南町の人口は19,868人で、1万人当たりの火災発生率は7.5件となり、基準値には届きませんでした。 (原因) 建物火災4件とその他火災8件の合計12件の火災原因は、不注意によるものであり、この件数が多いことが影響していると考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (低)

指標	火災による損害額 下がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		千円	20,276		12,460	1,000	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度に発生した火災は、建物火災5件、林野火災0件、その他火災10件、合計15件でした。損害額は12,460千円となり、基準値より7,816千円減少しました。 (原因) 建物火災が5件発生しましたが、1件当たりの損害額が低かったことが要因に挙げられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (低)

指標	救急車の平均到着時間 下がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		分	10		10.5	9	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和4年度の救急出場件数は1,223件であり、救急車の現場までの平均到着時間は10.5分で、基準値に0.5分届きませんでした。 (原因) 現場までの到着時間が短縮できていない要因として、城辺・御荘地区以外の救急が40.4%を占めており、現場までの走行距離が増えていることが要因と考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

指標	救急車の平均収容時間 119番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間 下がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		分	41.6		39.3	39.0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度の傷病者搬送人員は1,144人であり、救急車の平均収容時間は、39.3分でした。基準値より2.3分早く到着することができ、順調となっています。 (原因) 救急救命士及び救急隊員の知識と技術が向上し現場での観察と処置の時間を短縮できたことが要因と考えられます。						対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

施策のコスト(千円)

R03	R04
481,028	456,833

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
消防施設、消防車両、消防職員	国が定める消防力の整備指針に基づく基準人員、装備の確保及び設備更新をすることにより消防力を強化します。

基本事業の成果状況と評価

指標	消防力基準の達成率（装備）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	100		100	100	(横ばい)
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づき、消防ポンプ自動車、救急自動車、救助工作車を配備しており、老朽化した車両は随時更新を行い基準値を達成しています。 (原因) 車両の整備を行い計画的に更新することで消防力を維持しています。						対前年度
							目標達成度 (達成)

指標	消防力基準の達成率（人員）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	69.6		69.6	72.5	(横ばい)
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づく基準人員は69名ですが、現在の職員数は48名であり基準値は、達成していますが、目標値には届きませんでした。消防職員48名の内、行政職員が7名含まれており、41名の消防吏員で消防業務を行っています。隔日勤務者の人員が少ないため、救急出場等が重複した場合は非番職員を招集し災害に対応しています。 (原因) 令和3年度に4名の消防吏員が退職したのに対し、令和4年度は1名の消防吏員の新規採用と行政職員の異動により消防職員数を維持したことが要因と考えられます。						対前年度
							目標達成度 (高)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
59,737	33,265

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、消防職員	基本事業がめざす姿 町民による救命、救急車の適正利用等により、救急救命体制が充実し、救命率の向上を図ります。
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
指標 町民による心肺停止傷病者への心肺蘇生法実施率 上がると良い指標 【消防本部】		%	44.4		40.0	100	☁️ (横ばい)
	評価 (状況) 令和4年度の心肺停止傷病者は30人であり、現場に居合わせた町民が心肺蘇生法を実施した人数は12人でした。心肺蘇生法実施率は基準値に4.4ポイント届きませんでした。 (原因) 心肺停止傷病者は高齢者の割合が高く、その同居する家族も高齢者である割合が高いため、同居する家族が心肺蘇生法を実施するために体力的に困難になることが要因と考えられます。	(%)					対前年度 目標達成度 ■■■ (低)
指標 管外搬送件数 下がると良い指標 【消防本部】		件	206		242	180	☔️ (低下)
	評価 (状況) 令和4年度の管外搬送は242件となり、基準値に届きませんでした。また、救急件数の21.2%を管外搬送が占めている状況です。 (原因) 町内基幹病院の医師不足により緊急手術ができず、宇和島市、宿毛市などの救急病院へ搬送しなければならない状況が継続しているためです。	(件)					対前年度 目標達成度 ■■■ (中)
指標 軽症者の搬送割合(転院搬送を除く) 下がると良い指標 【消防本部】		%	38		50.5	30	☔️ (低下)
	評価 (状況) 令和4年度の転院搬送を除く軽症者の搬送割合は搬送人員970人中490人で、基準値に12.5ポイント届きませんでした。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、広報活動と救命講習の回数が減少していたことで救急車の適正利用に対する意識が低下したと考えられます。	(%)					対前年度 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
5,598	5,928

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 消防法令に基づく消防用設備等の設置により、火災の被害を軽減します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
消火器と住宅用火災警報器の両方を設置している世帯割合 上がると良い指標 【消防本部】	%	15.55		11.3	25.00	☁️ (横ばい)
評価 (状況) 消火器と住宅用火災警報器の両方を設置している世帯の割合は基準値に4.25ポイント届きませんでした。アンケートの結果で消火器だけの設置は23.2%、住宅用火災警報器だけの設置は27.9%となっており、消火器の設置が低くなっています。総務省消防庁の調査では町内の住宅用火災警報器の設置率は54.2%となっています。 (原因) 住宅用火災警報器は設置の義務がありますが、消火器は設置の義務がないため、両方を設置している世帯の割合が低くなっていると考えられます。					対前年度 目標達成度 ■■■ (低)	
	(状況) 管内の防火対象物862件と危険物施設94件に火災予防条例等関連法に違反している事業所はなく基準値を達成することができました。 (原因) 定期的に予防査察を実施していることが要因と考えられます。					
火災予防条例等関連法に違反している事業所数 下がると良い指標 【消防本部】	事業所	0		0	0	☀️ (向上)
評価 (状況) 管内の防火対象物862件と危険物施設94件に火災予防条例等関連法に違反している事業所はなく基準値を達成することができました。 (原因) 定期的に予防査察を実施していることが要因と考えられます。					対前年度 目標達成度 🏰 (達成)	

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
63	81

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 消防団	基本事業がめざす姿 地域防災の要となる消防団員が確保され、火災や災害時等に出動し機能的に活動することで、被害を軽減しています。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	火災時消防団員出動率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	35.7		28.1	40.0	☔ (低下)
評価	(状況) 火災時の消防団員出動率は28.1%で、総合計画基準値より7.6ポイント減少しており、停滞している状況です。 (原因) 団員の多くがサラリーマン化し、地区外での勤務者等が増加したことが、出動率の減少に繋がった原因と思われます。						対前年度 目標達成度 ■■ (中)

指標	災害等の消防団年間出動人数(火災以外)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標	人	501		298	-	比較不可
評価	(状況) 災害等における消防団の出動人数は298人で、総合計画基準値より203人減少しています。 (原因) 例年に比べ災害発生数が少なかったことが原因と思われます。						対前年度 目標達成度 ---

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
103,585	110,462

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
312,045	307,097

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

町内の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、依然として高齢者が当事者となるケースが多くなっています。高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、啓発事業を行っています。

町内で発生した刑法犯のうち、窃盗犯の認知件数が多数を占めています。また、年々巧妙化する振り込め詐欺等特殊詐欺と思われる予兆事案も後を絶ちません。防犯意識の高揚を図るため、愛南警察署、愛南地区防犯協会等と連携し、啓発事業を行っています。

施設整備の面では、事件・事故を未然に防ぐため、道路反射鏡（カーブミラー）やガードレール（ガードパイプ）の整備を行うほか、地区が整備する防犯灯に対して補助を行っています。

消費生活については、町民が安全に消費生活を送ることができるよう、消費生活相談窓口により、トラブルに対処しています。さらに、町民に対して情報提供や注意喚起を行い、多様化・複雑化している消費者トラブルの未然防止に取り組んでいます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.07 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.60 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	交通事故の発生が抑制されます。 犯罪の発生が抑制されます。

施策の成果状況と評価

指標	交通事故発生件数 下がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	17		13	15	対前年度 (向上)
評価	(状況) 令和4年は13件で、前期目標値を上回りました。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少傾向にあり、町内でも同様の傾向にあります。愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。	<p>Y-axis: (件) 0, 5, 10, 15, 20 X-axis: 基準, R04, R05, R06, R07 Data points: 基準(17), R04(13), R07(15)</p>				目標達成度 (達成)	
指標	刑法犯認知件数 下がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	65		86	60	対前年度 (低下)
評価	(状況) 令和4年は86件で、前期目標値を下回りました。 (原因) 近年は、コロナ禍の外出自粛により刑法犯の認知件数は減少していましたが、令和4年は、コロナ禍による外出自粛が緩和されたことにより、窃盗犯の認知件数が特に増加しています。	<p>Y-axis: (件) 0, 20, 40, 60, 80, 100 X-axis: 基準, R04, R05, R06, R07 Data points: 基準(65), R04(86), R07(60)</p>				目標達成度 (低)	

施策のコスト(千円)

R03	R04
23,262	26,243

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民（特に高齢者）、交通安全協会	基本事業がめざす姿 町民、特に高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の発生が抑制されます。
------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町民が第1当事者となった交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	件	17		13	15	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年は13件で、前期目標値を上回りました。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少傾向にあり、町内でも同様の傾向にあります。愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。						☀ 対前年度 目標達成度 🏰 (達成)

指標	高齢者の交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	件	15		7	15	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年は7件で、前期目標値を上回りました。 (原因) 町内での高齢者による交通事故発生件数は全体の半数以上を占めています。愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。						☀ 対前年度 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
6,513	7,090

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、町道	基本事業がめざす姿 必要な交通安全施設が整備され、危険箇所が少なくなります。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	ガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【建設課】	単位	基準値	実績値（R03）	実績値（R04）	目標値（R07）	対基準値
評価	（状況）ガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数は139.1m（9工事）実施し、基準値と比べて145.4mの減となりました。 （原因）毎年、地区要望等により順次必要なガードレールやガードパイプの整備を図ったため、単年度の整備延長が減少したものと考えます。	(m)	284.5		139.1	1,000	☂ (低下) 対前年度 目標達成度 ■■■ (低)

指標	安全性確保のために新設及び修繕したカーブミラー箇所数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値（R03）	実績値（R04）	目標値（R07）	対基準値
評価	（状況）令和4年度は31基（新設20基、鏡面取替8基、鏡面角度調整3基）の整備を行いました。 （原因）地区要望等による新設や、老朽化した鏡面の取替が増加傾向にあり、整備数が増加したものと考えられます。	(件)	24		31	20	☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
5,780	8,383

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 防犯意識が向上するとともに、防犯環境の整備を進め、犯罪の発生が抑制されます。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	日常生活で犯罪被害に対する不安を感じることがない町民割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	%	92.2		88.9	90.0	(横ばい)
評価	(状況) 令和4年度は88.9%で、前期目標値をわずかに下回りました。 (原因) 令和4年は刑法犯の認知件数が前年に比べ大幅に増加したため、町民の体感治安が低下したものと考えられます。						対前年度
							目標達成度
							■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
10,447	10,280

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	消費生活に対する意識が高まり、消費者トラブルが減少します。

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
消費者トラブルにあった・あいさうになった町民割合 【商工観光課】 下がると良い指標	%	0.6		9.7	0.4	☔ (低下)
(状況) 消費者トラブルにあった・あいさうになった町民割合は9.7%で、基準値より9.1%低下し、前期目標値に届いていません。 (原因) インターネット利用の拡大により、通信販売等の消費者トラブルが幅広い年齢層に及んでいることが原因と考えられます。						☔ (低下)
消費者トラブルに対する対策を知っている町民割合 【商工観光課】 上がると良い指標	%	59.3		56.4	70.0	☔ (低下)
(状況) 消費者トラブルに対する対策を知っている町民割合は56.4%で、基準値より2.9%低下し、前期目標値に届いていません。 (原因) 多様化・複雑化する消費者トラブルに対する情報提供や啓発が不十分であることが原因と考えられます。						☔ (低下)
消費者被害救済割合 【商工観光課】 上がると良い指標	%	71		94.5	90	☀ (向上)
(状況) 消費者被害救済割合が94.5%で、基準値より23.5%向上し、前期目標値を達成しています。 (原因) 専門の消費生活相談員と連携することにより、成果向上に結びついたと考えられます。						☀ (向上)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
522	490

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-05-01 成果重視の行政経営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業 04-05-04 ICTによる情報の適切な管理と利活用

基本事業 04-05-05 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-05-06 シティプロモーションと移住定住の促進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政に参画できる機会を提供するとともに、町政情報を公開することにより透明性のある町政を推進します。

過疎・高齢化が進展し、町の周辺地域においては衰退が著しい地区も発生してきています。地区（自治会）や公民館活動の活性化は、コミュニティの形成に直結する課題であり、地域の意向を踏まえ、直面する課題を解決するために連携した取組を進めることで地域コミュニティの充実を図ります。

時代の変化に伴い多様化していく行政ニーズに対応するため、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携・交流し、福祉、産業等の分野でまちづくりに活かします。

広報紙、ホームページ、SNS等の広報媒体を効果的に利用して、行政情報や町の出来事を町民に分かりやすく伝えるとともに、公募委員や意見表明制度等により町民の声を反映し、町民と行政の一体化を図ります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.90 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町の行財政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>効率的で計画的な行財政運営がなされています。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	総合計画(施策・基本事業)の成果指標目標値の達成割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	31.0		28.2	50	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 第3次総合計画の初年度の成果指標です。今後は、PDCAサイクルによる事業評価を確実に実行することにより、成果は向上すると考えます。</p>						☔ (低下)
		対前年度	目標達成度	■ (低)			

指標	町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	80.4		82.5	90.0	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う市民の割合は82.5%で、総合計画基準値と比較し2.1ポイント向上し、順調に推移しています。(原因) 広報等により町の予算執行状況を公開していることが影響していると考えられます。</p>						☁ (横ばい)
		対前年度	目標達成度	■ (低)			

指標	実質公債費比率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	8.1		9.6	8.7	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 実質公債費率は9.6%で、目標値と比較して0.9ポイント下回っています。今後は元利償還金も減少していくため、目標値に向かって順調に推移していくと見込んでいます。(原因) 合併特例債等による元利償還金の減(分子)及び標準税収入額に算入される市町村民税(分母)の増はあるものの、普通交付税と臨時財政対策債発行可能額(分母)の減少が主な要因となっています。</p>						☔ (低下)
		対前年度	目標達成度	■ (低)			

指標	将来負担比率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	0		0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 将来負担比率は地方債残高等の負担見込額に対し、その負担額を上回る基金などの財源があるため指数として算出されず、0%のまま順調に推移しています。(原因) 地方債発行額が元金償還額の範囲内となり、結果地方債残高が14億3,509万2千円減少したことが主な向上の要因となっています。</p>						☀ (向上)
		対前年度	目標達成度	☑ (達成)			

施策のコスト(千円)

R03	R04
5,433,556	5,538,680

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-01 成果重視の行政経営の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政	P D C Aサイクルが確立され、成果重視の行政経営が推進されています。

基本事業の成果状況と評価

指標	成果向上した事務事業割合（通常評価のみ）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】 見直し割合（11.0）を含まない基準値へ修正	%	18.8		20.9	50.0	☀ (向上)
評価	（状況）第3次総合計画の初年度の成果指標です。 今後は、P D C Aサイクルによる事業評価を確実に実行することにより、成果は向上すると考えます。						☀ 対前年度 ■ 目標達成度 (低)

指標	行政改革提案実施件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	件	8		8	8	☀ (向上)
評価	（状況）令和4年度は、8件で目標値を達成しています。 （原因）職員や行政改革推進委員会からの政策・業務改善提案のうち、有効なものが数多くあったことから、新規政策や業務改善を目標数実施したことによるものと考えられます。						☀ 対前年度 ■ 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
41,635	36,604

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政	職員が育成され、働きやすい職場環境で効果的・効率的な組織・人事管理がされています。

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
研修受講者の割合 上がると良い指標 【総務課】	%	100		100	100	☀️ (向上)
評価 (状況) 職員の研修受講者の割合は100%で、総合計画基準値と比較して増減はなく、前年度と変わりなく職員研修が実施されており、目標を達成しています。 (原因) 職場研修では、職員の階級別に実施したメンタルヘルスケア研修や人権研修、ハラスメント防止研修会といったサービス関係の研修等を行いました。職場外研修では、愛媛県や町村会主催の研修に職員の派遣を行いました。計画的に研修を行っていることが、達成の要因と考えています。						☁️ (横ばい)
						☀️ (向上)
<p>目標達成度</p> <p>☀️ (達成)</p>						

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	%	85.3		84.1	90.0	☁️ (横ばい)
評価 (状況) 町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合は、84.1%で、総合計画基準値と比較して1.2%の減少となり、目標値90.0%から後退しました。 (原因) 職員の人員確保に課題がある中で、行政サービスが複雑かつ多様化しており、満足度が上がりにくい状況が原因と考えられます。						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
<p>目標達成度</p> <p>☹️ (高)</p>						

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
年次有給休暇取得5日未満の職員数の割合 下がると良い指標 【総務課】	%	34.5		22.4	15.0	☀️ (向上)
評価 (状況) 年次有給休暇取得5日未満の職員数の割合は22.4%で、総合計画基準値より12.1ポイント減少し、目標値に近づいています。 (原因) 特定事業主行動計画(後期計画)を令和3年度に策定し、目標として掲げた「年次有給休暇の平均取得日数10日」を周知啓発したことが影響していると考えられます。						☀️ (向上)
						☀️ (向上)
<p>目標達成度</p> <p>☹️ (中)</p>						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町の自主財源、町民、町の財政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>自主財源の安定的な確保を図るとともに、中長期的な視点に立った健全な財政運営を行います。</p>
--------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	一人当たりの地方債残高	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	千円	887		801	756	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 住民一人あたりの地方債残高は令和4年度末で80万1千円で、総合計画基準値と比較し86千円向上しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 令和4年度末の人口は1万9,328人となっています。人口の減少幅に比べ、地方債の元金償還額が大きくなっていることが要因となります。</p>					☀️ (向上) 対前年度 目標達成度 ■ (中)	
指標	町税の収納率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【税務課】	%	97.6		97.88	98.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 令和4年度の町税収納率は97.88%で、基準値に対して0.28%向上しています。</p> <p>(原因) 納税相談や財産調査に基づく滞納処分(令和4年度46件)を積極的に実施したことが、収納率の向上の原因と考えられます。</p>					☀️ (向上) 対前年度 目標達成度 ■ (高)	
指標	経常収支比率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	99.5		92.9	94.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 経常収支比率は92.9%で、総合計画基準値と比較し6.6ポイント向上しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) ふるさと納税により積み立てられた、ふるさとづくり基金からの繰入金が増加したことが主な要因となりました。</p>					☀️ (向上) 対前年度 目標達成度 🏰 (達成)	

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
21,039	41,760

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-04 ICTによる情報の適切な管理と活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政、事業者	基本事業がめざす姿 適正な情報管理がされるとともに、ICTの活用で行政サービスの向上と効率化が進んでいます。
----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	ICTを活用した行政サービス改善件数及び新規導入件数（基本計画期間累計） 【総務課】 上がると良い指標	単位 件	基準値 0	実績値 (R03)	実績値 (R04) 1	目標値 (R07) 1	対基準値 ☀ (向上)
	評価	(状況)令和4年度は、ICTを活用した行政サービスの新規導入件数が1件となり、目標値を達成しています。 (原因)各種窓口手続きの利便性向上を図るため、サーバ機器等の整備を行うことで、オンラインでの手続きができる環境を構築しました。					対前年度 ☐ 目標達成度 ☑ (達成)
				☑ (達成)			
指標	情報システムにおける事故件数（セキュリティ及びシステムダウン等） 【総務課】 下がると良い指標	単位 件	基準値 0	実績値 (R03)	実績値 (R04) 0	目標値 (R07) 0	対基準値 ☀ (向上)
	評価	(状況)システムダウン件数は0となっており、目標値を達成しています。 (原因)各種システムの監視体制及び障害発生時の対応手順等の整備により、障害発生時に迅速に対応できていることが要因と考えます。また、機器及びシステム異常等のログの確認並びに機器の点検を定期的実施していることが安定稼働につながり、成果に結びついたと考えられます。					対前年度 ☐ 目標達成度 ☑ (達成)
				☑ (達成)			

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
332,369	379,067

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-05 公共施設マネジメントの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>公共建築物、公園</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>公共建築物の総量の適正化が図られ、管理費が抑制されています。公園が適正に維持管理され、安全に利用できます。</p>
--------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	公共建築物の管理費（日常管理、修繕、改修）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	千円	511,891		411,363	486,296	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 令和4年度指標値は、411,363千円で前期目標値を達成しています。(前期基準値比較: 100,528千円、前期目標値比較: 74,933千円)</p> <p>(原因) 前期基準値年度(令和2年度)に比べ大規模な工事がなかったことが原因です。</p>						☀ (対前年度)
		目標達成度	🏰 (達成)				

指標	町が公園管理者として責任を負うことになった事故件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	件	0		0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 町が公園管理者として責任を負うことになった事故件数は0件となり目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 年に一度公園の遊具点検を行い、危険だと判断された際には修繕や利用停止など、適切な管理を図っていることが成果に結びついたと考えられます。</p>						☀ (対前年度)
		目標達成度	🏰 (達成)				

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
163,585	179,058

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-06 シティプロモーションと移住定住の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町外在住者	基本事業がめざす姿 空き家バンク登録件数を増やしたり、町ホームページ・SNSを活用して町の魅力や活動等を積極的にPRし、移住者・定住者が増加します。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	移住に関する情報発信数（掲載媒体、イベント、つぶやき、HP更新数） 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	25		25	55	☀️ (向上)
評価	(状況)令和4年度は、基準値からは13件増加しましたが、前期目標値には30件届きませんでした。 (原因)空き家バンクの登録件数が増加したことや体験住宅あかみず棟の紹介をしたことがHP更新数が増加した要因だと考えます。						対前年度
							☐ 目標達成度 (低)
指標	空き家バンク制度による延べ登録件数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	36		36	57	☀️ (向上)
評価	(状況)令和4年度は、13件登録しました。前期目標値は基準値に対し年単位で約7件ずつ登録することを鑑みると、順調に進んでいると考えます。 (原因)空き家バンク制度の周知（HP等）に力を入れたことが主な要因として考えられます。						対前年度
							☐ 目標達成度 (中)
指標	移住者数 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		人	71		71	140	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和4年度は、前年度からは9件減少し、前期目標値にはまだまだ及ばない状況です。 (原因)空き家バンクの登録件数を増やしたり、東京や大阪での移住フェアに参加していますが、移住実績には繋がっていない状況です。交通の利便性などの要件が伸び悩みの大きな原因となっています。						対前年度
							☐ 目標達成度 (低)

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
5,011	10,033

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
4,869,917	4,892,158

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-01 学校教育の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業 05-01-02 ICTを活かした教育の推進

基本事業 05-01-03 心の教育の充実

基本事業 05-01-04 健やかな体の育成

基本事業 05-01-05 安心安全な教育環境の整備

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

学校教育法施行規則の一部改正に伴い、学校の実情に合わせて、医療的ケア看護職員や情報通信技術支援員、特別教育支援員、教員業務支援員等の整備を進め、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に努めました。

。GIGAスクール構想によるICT環境（1人1台端末や高速大容量のネットワーク等）を整備しましたので、それらを適切に活用した学習活動の充実に推進しています。

児童生徒の多様化に応じた心のケアに努めるとともに、継続していじめ問題や不登校問題等に適切に対応しています。特に深刻化するSNSやインターネットを介したいじめ問題の未然防止・保護者への啓発と関係機関と連携し、不登校児童生徒への支援に努めています。

学校施設の老朽化が進み、安全・安心な教育環境を維持するため、必要に応じ、迅速且つ計画的な修繕・改修に取り組んでいきます。

児童生徒数の減少が進む中、適切な学校再編を行い、学校教育活動の充実に努めます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.96 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.66 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象 幼稚園、小中学校、園児、児童、生徒	施策がめざす姿 心身ともに健康な子どもを育成し、教育環境を整備・充実し、安全・安心な学校生活を形成します。
-----------------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	楽しく学校生活を送っている児童の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		%	93.7	94.0	95.5	☁️ (横ばい)	
評価	(状況)各学校の学校評価から94.0%の児童が学校は楽しいとの回答しています。内訳として十分あてはまる68.0%、あてはまる26.0%です。 (原因)日頃からの授業や学校行事等、学校生活が充実しており、児童や教職員との人間関係が良好であることが考えられます。今後も学校生活が楽しいと思えるように分かる授業づくり、一人一人の居場所づくり等児童に寄り添う指導や環境づくりに努めます。						☁️ 対前年度
		■■■ (高)	目標達成度				

指標	児童が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		%	95.7	96.0	95.0	☁️ (横ばい)	
評価	(状況)各学校の学校評価から96.0%の児童の保護者が児童が楽しく学校生活を送っていると回答しています。内訳として十分あてはまる65.0%、あてはまる31.0%です。 (原因)学校側のきめ細かな指導により、教員と保護者、保護者と学校の関係性が良好であることが考えられます。今後も継続して信頼ある取組を行うとともに、地域とともにある学校づくりを目指していくことが重要となります。						☁️ 対前年度
		■■■ (達成)	目標達成度				

指標	楽しく学校生活を送っている生徒(中学生)の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		%	88.7	92.0	95.0	☀️ (向上)	
評価	(状況)各学校の学校評価から92.0%の生徒が学校は楽しいとの回答しています。内訳として十分あてはまる61.0%、あてはまる31.0%です。 (原因)日頃からの授業や学校行事等、互いに協力し合いながら活動に取り組むことが充実感につながっており、また、良好な人間関係を築くことができていることが考えられます。今後も学校生活が楽しいと思えるように分かる授業はもとより、一人一人の生徒に目を向け、小さな問題に対してもスピーディーな対応に努めます。						☀️ 対前年度
		■■■ (高)	目標達成度				

指標	生徒が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		%	91.7	94.0	95.0	☀️ (向上)	
評価	(状況)各学校の学校評価から94.0%の生徒の保護者が生徒が楽しく学校生活を送っていると回答しています。内訳として十分あてはまる47.0%、あてはまる47.0%です。 (原因)学校側のきめ細かな指導により、教員と保護者、保護者と学校の関係性が良好であることが考えられます。今後も個々の生徒に寄り添った指導を行うとともに、生徒が生き生きと活動できるよう、様々な情報発信を通して、保護者や地域との連携を深めていく必要があると考えます。						☀️ 対前年度
		■■■ (高)	目標達成度				

施策のコスト(千円)

R03	R04
660,110	553,053

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 小中学校	基本事業がめざす姿 自ら学び考える力を育成し、基礎・基本を定着させることにより確かな学力の向上を図ります。
-----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
授業が分かるという児童の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	95.1		96.0	95.0	☁️ (横ばい)
評価 (状況) 各学校の学校評価から96.0%の児童が、授業が分かる と回答しています。内訳として十分あてはまる57.0%、あては まる39.0%です。 (原因) 肯定的な捉え方をしていることから、教員の指導方法 の工夫や児童への熱心な関りがうかがえる。主体的・対話的で 深い学びに向けた授業改善や個別最適な学びを考えた効果的なI CT活用、また、学力の定着を図るために、復習や個の課題に応 じた指導時間の確保など、各校で日頃から時間をかけた取り組 みの成果が表れていると考える。						☀️ (向上)
	目標達成度 🏰 (達成)					

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
授業が分かるという生徒の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	89.5		92.0	95.0	☀️ (向上)
評価 (状況) 各学校の学校評価から92.0%の生徒が、授業が分かる と回答しています。内訳として十分あてはまる35.0%、あては まる57.0%です。 (原因) 肯定的な捉え方をしていることから、それぞれの教科 での指導方法の工夫がうかがえる。基礎・基本の定着に向けた 授業改善や主体的・対話的で深い学びに向けた学び合い活動、 効果的なICT活用など、各校での日頃からの取組が成果として表 れていると考える。						☀️ (向上)
	目標達成度 ■■■ (高)					

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
学習習慣ができている児童の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	87.5		77.0	92.0	☔️ (低下)
評価 (状況) 各学校の学校評価から77.0%の児童が、学習習慣が身 に付いていると回答しています。内訳として十分あてはまる40. 0%、あてはまる37.0%です。 (原因) 多くの児童で学習習慣が身に付いており、家庭学習も 行われていますが、家庭での学習が習慣化できていなかったり 、学年に応じた学習時間の確保ができていなかったりする児童 も見られます。家庭での協力を仰ぎながら、時間の使い方を見 えさせたり、個の課題に応じた家庭学習が進められるような手 立てを考える必要があります。						☔️ (低下)
	目標達成度 ■■ (低)					

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
学習習慣ができている生徒の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	59.6		70.0	85.0	☀️ (向上)
評価 (状況) 各学校の学校評価から70.0%の生徒が、学習習慣が身 に付いていると回答しています。内訳として十分あてはまる26. 0%、あてはまる44.0%です。 (原因) 各校で自主学習ノートに取り組みさせるなど、少しずつ 効果が表れます。現在の取組を継続させながら、将来、社会 で生き抜くための学び必要性について考えさせていく必要があ ります。また、宿題も含めた家庭での学習の在り方について、 今まで以上に家庭との連携を深めていく必要があります。						☀️ (向上)
	目標達成度 ■■ (低)					

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
63,916	59,746

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-02 ICTを活かした教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 児童、生徒、小中学校	基本事業がめざす姿 ICT機器を利用した児童生徒の興味関心の増加と情報リテラシーが向上しています。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
ICT機器を使った学習が楽しいと感じている児童の割合	%	96.0		96	80	(横ばい)
上がると良い指標 【学校教育課】	(%)					対前年度
(状況) ICT機器を使った学習が楽しいと感じている児童の割合は、96%となりました。 (原因) 一人一台の端末配備によって、ICTを活用した授業が積極的に行われています。ICT機器を活用することにより動画などビジュアルで授業を理解できるようになった、また、パソコンを使った発表が可能になったためと考えられます。						目標達成度 (達成)

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
ICT機器を使った学習が楽しいと感じている生徒の割合	%	93.0		93	80	比較不可
上がると良い指標 【学校教育課】	(%)					対前年度
(状況) ICT機器を使った学習が楽しいと感じている生徒の割合は、93%となりました。 (原因) 一人一台の端末配備によって、ICTを活用した授業が積極的に行われています。ICT機器を活用することにより動画などビジュアルで授業を理解できるようになった、また、パソコンを使った発表が可能になったためと考えられます。						目標達成度 (達成)

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
学習端末を使用している児童・生徒の割合	%	85.0		85	80	(横ばい)
上がると良い指標 【学校教育課】	(%)					対前年度
(状況) 学習端末を使用している児童・生徒の割合は、85%となりました。 (原因) 一人一台端末の配備により、積極的にICTを活用する授業が積極的に行われています。また、学習用ドリルなどについてもICTを活用しているため、宿題や休み時間においても活用している状況です。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
67,242	36,868

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-03 心の教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 いじめ・不登校の根絶に努め、家庭や地域と連携した生徒指導の充実を図ります。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
いじめの解消率 上がると良い指標 【学校教育課】	%	95.6		100	100	☁️ (横ばい)
(状況) 令和4年度は100%で、基準値、目標値に達しています。 (原因) 各校でいじめの認知と各機関との連携による早期解決に努めた結果であると言えます。継続して、いじめの未然防止と健全育成に努めます。						対前年度 目標達成度 🏰 (達成)
不登校の児童・生徒数 下がると良い指標 【学校教育課】	人	4		18	0	☔️ (低下)
(状況) 令和4年度は18名で、基準値、目標値より大幅に増えています。 (原因) 不登校の要因は、個人によって様々です。継続して保護者や関係機関と連携しながら丁寧に対応するとともに、より良い体制の整備に努めます。						対前年度 目標達成度 📊 (低)
専門機関等へつなげた不登校児童生徒の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	100		100	100	☔️ (低下)
(状況) 令和4年度は40%で、基準値、目標値には届いていません。 (原因) 各校で不登校対応の体制を整え、それぞれの役割の中で行動しています。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣し、不登校児童生徒や保護者とのカウンセリングを繰り返しているものの、関係機関が入ることには抵抗を感じています。今後もチームで対応を続け、改善に努めていきます。						対前年度 目標達成度 📊 (低)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
4,920	4,091

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-04 健やかな体の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 健康的な生活習慣の形成を図り、運動を通じて体力を養います。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
愛媛県体力標準値で県平均を上回っている項目数の割合（小5・中2） 上がると良い指標 【学校教育課】	%	90.6		84.4	90.0	(低下) 対前年度 目標達成度 (中)
(状況) 令和4年度は32項目中25項目で県平均を上回っており84.4%の達成率ですが、基準値、目標値には達していません。内訳としては、各8項目中、小学5年男子が3項目、女子は全ての項目、中学2年男女とも7項目で県平均を上回っています。 (原因) 一部の対象学年で達成数が少なかったため、全体的に達成率が低くなっています。しかし、各項目県平均値と大きな差はないため、今後の目標の持たせ方や意欲の喚起、実施までの主体的な練習方法を提示することで、十分に改善の余地が考えられます。						
パーフェクト自己新記録賞の割合（小5・中2） 上がると良い指標 【学校教育課】	%	83.3		35.1	90.0	(低下) 対前年度 目標達成度 (低)
(状況) 令和4年度は35.1%で、基準値、目標値に達していません。 (原因) 8項目全てが、昨年度の記録よりも向上しなければならなかったため、達成者が少なかったことが考えられます。また、中学生の方が達成率が高いことから、体育的部活動の影響も大きいと思われることから、学校体育以外の面でも、継続して運動に親しむための啓発を行います。						
健康診断における精検者の受診率 上がると良い指標 【学校教育課】	%	65.0		31.5	100	(低下) 対前年度 目標達成度 (低)
(状況) 要精検者の受診率は31.5%で、総合計画基準値、目標値には大きく届きませんでした。 (原因) 受診の必要性を強く感じる保護者が少ないことが考えられるため、要精検対象児童生徒及び保護者への受診勧奨を引き続き進めます。						
基本的な生活習慣ができている児童・生徒の割合（早寝早起き、朝ごはんを食べている、あいさつなど） 上がると良い指標 【学校教育課】	%	86.5		86.7	95.0	(横ばい) 対前年度 目標達成度 (中)
(状況) 令和4年度は86.7%であり、基準値を満たしているが、目標値には届いていません。小学校では90%、中学校では80%であり、年齢が上がるにつれ達成率が悪くなる傾向があります。 (原因) 基本的習慣お在り方については、意識の持ち方等、個人差があると考えられます。継続して基本的な生活習慣の指導を行うとともに、食育の推進等、家庭への啓発に努めます。						

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
121,168	111,130

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-05 安心安全な教育環境の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 子どもが安心安全な環境で豊かな学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実に努めます。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	学校施設維持管理上の支障件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【学校教育課】	件	0		0	0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 児童・生徒の事故につながる不具合や学校運営に支障が出るほどの修繕はありませんでした。 (原因) 学校及び共同事務室との連携により、不具合の早期発見及び適切な修繕対応ができていていることによると考えられます。	(件)					対前年度 目標達成度 🏠 (達成)

指標	登下校の事故・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【学校教育課】	件	2		5	0	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和4年度は5件で、基準値、目標値には届きませんでした。 (原因) 各校における交通安全教室や防犯訓練等、警察やスクールガード・リーダーとの連携を継続していますが、児童生徒一人一人への意識喚起を、今以上に啓発する必要があります。今後は、児童生徒はもちろんですが、保護者への啓発も繰り返し続け、事故や事件の未然防止に努めます。	(件)					対前年度 目標達成度 🏠 (低)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
205,275	150,826

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
197,589	190,392

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-02 生涯学習の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業 05-02-03 生涯学習施設の適正管理

基本事業 05-02-04 文化財の保護・活用

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

社会の進展に伴い、人々の価値観は多様化しており、生涯学習に対する町民のニーズも多様化しています。そのため、変化するライフスタイルや町民ニーズに対応した生涯学習機会の提供と地域に根ざした公民館活動の充実・強化に取り組む必要があります。また、学習施設利用者が安全・快適に利用できるように個別施設計画に基づく施設の適正な管理に努め、生涯学習環境の充実を図る必要があります。

町民の自主的な文化活動を支援するとともに優れた文化に接する機会の提供や放課後・長期休業中の児童の安全安心な居場所づくりと魅力ある体験活動の充実を図ります。

平城貝塚と遍路道の保護については、前者を令和6年度下半期、後者は柏坂遍路道を令和8年度下半期をそれぞれ国史跡指定の期限に定めて取り組み、史跡指定後葉は保存活用計画を策定します。そして、埋蔵文化財の周知と保存や、その他の文化財の保護と活用、愛南町の歴史や文化を語るうえで重要な物件の保護を図ることにより、町民の歴史や文化に対する理解を深め、郷土への愛着と誇りを醸成します。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.42 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	多様な学習機会や情報を提供し、その成果を活かせる活動の場づくりを進める事により、生涯学習に取り組む町民が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	15.2		13.1	20.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和4年度は13.1%で、前回より1.4ポイント上昇しました。しかし前期目標値には、ほど遠い状況です。</p> <p>(原因) 生涯学習に取り組む機会や意欲が新型コロナウイルス感染症の影響により衰退していることが、数値が伸び悩んでいる要因と思われます。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 R04 R05 R06 R07</p>					対前年度
							目標達成度
							(低)

施策のコスト(千円)

R03	R04
343,803	403,141

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 町民のニーズに応じた様々な生涯学習機会の提供や町民の各種文化活動への支援によって、多くの町民が文化活動を含む生涯学習活動に参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
公民館事業に参加した町民の参加者数 上がると良い指標 【生涯学習課】	人	10,297		14,154	23,000	☀️ (向上)
評価 (状況) 前年度と比べ4,464人増加しましたが、前期目標値にはほど遠い状況です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症による制限が前年度と比べ緩和傾向にあったため参加者が増加しています。5類に移行した令和5年度以降も参加者の増加が見込まれますが、目標値達成には更なる創意工夫が必要と思われます。	(人)					☀️ (向上)
生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合 上がると良い指標 【生涯学習課】	%	79.0		87.5	85.0	☀️ (向上)
評価 (状況) 令和4年度は87.5%で、前回から1.5ポイント上昇しました。前期目標値を達成しています。 (原因) 公民館独自のマネジメントシートを活用し、運営審議委員の意見等を取り入れ、より住民ニーズに対応した事業の展開ができてきているからだと思います。	(%)					☀️ (向上)
生涯学習に関する情報提供の量や内容に満足している町民の割合 上がると良い指標 【生涯学習課】	%	76.4		90.3	80.0	☀️ (向上)
評価 (状況) 令和4年度は90.3%で、前回から4.1ポイント上昇しました。前期目標値を達成しています。 (原因) 町ホームページやSNSを活用した情報発信のほか、公民館等の各施設へのチラシの設置などにより積極的に情報提供を行っています。	(%)					☀️ (向上)
文化活動への参加者数 (芸術・文化・歴史) 上がると良い指標 【生涯学習課】	人	22,279		20,894	50,000	☔️ (低下)
評価 (状況) 令和4年度は20,894人で、基準値を下回っており、前期目標値にもほど遠い状況です。 (原因) 御荘文化センターホールの会場において、新型コロナウイルス感染対策のため出席者同士の座席を一定間隔空けるなどの人数制限等を行ったためです。	(人)					☔️ (低下)

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業の成果状況と評価

指標	文化事業・芸術鑑賞への機会が十分だと思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	70.7		75.2	75.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度は75.2%で、前回から7.0ポイント上昇しました。前期目標値を達成しています。 (原因) 文化協会等による発表会や展示会が開催されるなど、新型コロナウイルス感染症流行以前の活動状況を取り戻しつつあるためです。						☀️ (向上)
							☀️ (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
14,334	27,935

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 小中学生	基本事業がめざす姿 体験活動や見守りを受けたり、放課後や週末等における安全・安心な居場所があり、健全に育成されています。
-----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	青少年事業延べ参加者・利用者数 上がるの良い指標 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		人	6,854		6,205	9,000	(低下) 対前年度 目標達成度 (低)
評価	(状況) 令和4年度は6,205名で、前期目標値の9,000人は達成できていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による事業回数の減少や外出自粛による利用者の減少が要因だと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
6,267	6,000

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-03 生涯学習施設の適正管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、生涯学習施設	基本事業がめざす姿 生涯学習施設を適正に管理することで、多くの町民が安心して利用することができます。
----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	生涯学習施設の維持管理上のトラブル件数 下がるが良い指標 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0		0	0	(横ばい)
評価	(状況) 生涯学習施設の維持管理上のトラブルは発生しませんでした。 (原因) 各施設管理担当職員による管理が適正に実施できているためです。						(横ばい)
							対前年度
							目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
128,462	187,859

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-04 文化財の保護・活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 文化財の保護と活用を通じて、町民が町の歴史や文化への理解を深め、郷土への愛着や誇りを醸成します。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【生涯学習課】	件	0		0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難は発生していません。 (原因) 所有者等により適切に管理されていることによります。引き続き、文化財保護行政担当者の巡視も併せ、指定文化財の保護・継承に取り組みます。	(件)					対前年度 目標達成度 (達成)

指標	文化財事業の参加者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	200		200	200	☀ (向上)
評価	(状況) 令和4年度実績は274人で、指標値より74人増となりました。また、令和3年度実績より144人増となっています。 (原因) 主として、平城貝塚シンポジウムと愛媛県歴史文化博物館での平城貝塚の講義による増で、恒常的な数値ではありません。この数値を恒常的なものとしていくためには、町内の小・中・高校や各地域における出前授業といった浸透を目的とした手段が重要であるため、引き続き各階層における学習の機会の提供と、SNSを利用した町内外の興味関心の喚起に努めます。	(人)					対前年度 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
6,003	7,555

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
188,737	173,792

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-03 スポーツの充実

施策を実現する手段

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進と適正管理

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子化による競技人口の減少とスポーツ習慣の低下により、スポーツ少年団の登録数が減少しています。今後は学校単位から競技単位のスポーツ少年団への移行を目指し、専門的な知識や技術を有する指導者を養成し、団体の育成と団員の加入促進を図る必要があります。スポーツ活動に親しむ町民の割合を向上させるため、各種大会や教室への参加機会の充実を図り、スポーツ習慣を高めていくとともに、幅広い年齢層が気軽にスポーツが体験できるよう環境を整備していき、新たな競技種目の導入に取り組むことが重要です。

平成29年度のえひめ国体開催を機に、あけぼのグラウンドの人工芝を張替える改修をしたことから、当該施設を中核としたスポーツ合宿の積極的な誘致や対外的なスポーツイベントを開催し、スポーツツーリズムによる交流人口の増加を図る必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.04 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.37 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>町民ニーズにあったスポーツ環境の整備を行い、健康が維持増進されています。</p>
------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	31.7		22.9	33.0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 令和4年度は22.9%で、総合計画基準値より8.8ポイント減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) コロナ過により、感染対策のためスポーツ活動を自粛している方が多くいることが要因であると考えられます。今後、新型コロナが収束することや、ウィズコロナにより感染対策を徹底した上で活動ができるようになれば、成果の向上が見込めます。</p>						<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (中)</p>

指標	各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	11.5		11.3	13.0	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 令和4年度は11.3%で基準値より0.2ポイント低下しましたが、住民アンケートの指標で統計誤差の範囲内であり、横ばい状態です。</p> <p>(原因) 若年層の人口減少に伴い、野球やサッカーなどのチーム数が減少していることに加え、新型コロナウイルス感染拡大による社会環境の変化が要因であると考えられます。</p>						<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>

施策のコスト(千円)

R03	R04
87,453	121,853

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ活動への参加機会が充実します。
------------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町主催のスポーツ大会・教室等に参加した人数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	628		917	2,000	☀ (向上)
評価	(状況)令和4年度の参加者数は917人で、前年度数値は上回りましたが、前期目標値の2,000人に届きませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの影響により各種大会が中止になったことが要因であると考えます。今後、新型コロナウイルスの収束により各種大会や教室が通常どおり開催できれば参加者の増加が見込めます。						☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ■■ (低)
指標	スポーツ活動への参加機会が十分であると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	84.0		84.5	85.0	☀ (向上)
評価	(状況)令和4年度は84.5%で、前年に比べて1.8ポイント増加しましたが、前期目標値の85.0%には届きませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの影響が残る中で、各競技団体が工夫しながら大会を企画、運営している成果であると考えられます。今後、新型コロナウイルスの収束により活動が通常どおりできるようになれば、成果の向上が見込めます。						☀ (向上) 対前年度 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
3,044	3,749

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進と適正管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 スポーツ施設・設備を充実させ、多くの町民が利用します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	スポーツ施設利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	122,315		84,623	135,000	☔ (低下)
評価	(状況) 令和4年度は84,623人で前年度より5,633人増加しましたが、基準値には届きませんでした。 (原因) 新型コロナウイルスの影響により施設の休館や利用者による活動自粛の影響であると考えます。5類移行により通常どおり施設利用が出来れば利用者の増加が見込めます。						対前年度 目標達成度 ■■ (中)

指標	スポーツ施設の維持トラブル不具合件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【生涯学習課】	件	0		0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 大きな不具合やトラブルの申し出もなく、順調に推移しています。 (原因) 各公民館と連携して、施設の巡回を行うことで現状を把握し、適宜必要な修繕や対応を行ったことが要因だと考えます。						対前年度 目標達成度 ■■ (達成)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
40,154	55,170

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 スポーツツーリスト、町民、行政	基本事業がめざす姿 スポーツツーリズム推進基本方針（観光庁）に基づき「見る」、「する」、「支える」などのスポーツを通じた観光のまちづくりを推進します。
-----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	スポーツツーリズムによる交流人口	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	4,861		938	5,000	☔ (低下)
評価	(状況)令和4年度は938人で前年度より189人増加しましたが、基準値には届きませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの影響によりトライアスロン大会などの各大会が中止や縮小になったためです。新型コロナウイルスの5類移行により通常どおりに大会が開催できれば参加人数の増加が見込めます。					対前年度 目標達成度 ■■■ (低)	

指標	スポーツ合宿件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	件	12		7	15	☔ (低下)
評価	(状況)令和4年度は7件で前年度より増加しましたが、基準値には届きませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの影響により一部の合宿が中止になったことが要因であると考えます。必要に応じた施設改修や備品の整備、関係課と連携した誘致活動の継続やSNSによるPRを行うことで、合宿件数の増加を目指します。					対前年度 目標達成度 ■■■ (中)	

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
1,228	4,316

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
38,981	52,810

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策を実現する手段

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

近年、SNSの急速な普及拡大による誹謗中傷が大きな社会問題となっています。平成28年度からヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、アイヌ施策推進法が施行されるなど、あらゆる人権課題の解決に向けた取り組みを進めていますが、依然として同和問題をはじめ、女性、LGBTQ+等への人権侵害が多く発生しています。

基本的な人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会の実現のため、啓発活動の充実が必要であります。

女性の社会進出が進み、平成30年には政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行され、職場等では環境の変化があると思われませんが、家庭まではなかなか浸透していないのが現状です。共働き世帯が増加する中、男女の地位の平等化は重要な課題となっています。令和2年度に策定した第3次愛南町男女共同参画推進計画に基づいて、男女の性差に関係なく、自分の意思を表現できるよう、男女共同参画社会形成の実現を目指します。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.41 (3.67)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	地域、家庭、職域その他様々な場において、人権尊重に対する町民の理解を深め、日常生活において、態度や行動に現れるような人権感覚を身に付けています。

施策の成果状況と評価

指標	この1年間に、自身の人権が侵害されたと感じたことがある町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	下がるが良い指標	%	8.5		7.9	7.0	☀ (向上)
	(状況) 令和04年度は7.9%で、基準値に比べて0.6ポイント向上しており、順調に推移しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、人同士の接触機会が減ったことが原因と考えられます。	(%)					対前年度 目標達成度 ■■ (高)
指標	出身、性別、国籍、年齢、病気、障がいの有無等の人権に係る差別をしてはならないと考える町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	上がるが良い指標	%	97.9		99.2	100	☀ (向上)
	(状況) 令和04年度は99.2%で、基準値に比べて1.3ポイント向上しており、順調に推移しています。 (原因) 全国的な傾向である多文化共生への理解が深まりつつあることが原因と考えられます。	(%)					対前年度 目標達成度 ■■ (高)

施策のコスト(千円)

R03	R04
12,604	24,805

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政及び事業者	基本事業がめざす姿 あらゆる差別や偏見の解消及び多様性を認める人権尊重意識の高揚を図ります。お互いに相手の立場を認め合える豊かな感性をもった児童・生徒を育てます。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	学習等により、この1年間に自身の人権意識が高まったと思う町民の割合 上がると良い指標 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況)令和04年度は3.9%で、基準値に比べて0.9ポイント減少しましたが、市民アンケートの統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、学習等の参加者を広く募集できなかったことが微減の原因と考えられます。	%	39.9	39.0	45.0		(横ばい) 対前年度 目標達成度 ■■■ (高)
							(状況)令和04年度は87.8%で、基準値に比べて2.9ポイント向上しており、順調に推移しています。 (原因)人権啓発作品集作成事業の継続により、児童・生徒の人権感覚の育成を図ったことが、成果向上に結び付いたと考えられます。

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
4,141	16,162

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政及び事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>男女がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、能力を十分に発揮できる共生社会の実現を目指します。</p>
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	男女の地位は平等になっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	20.4		23.2	50.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 男女の地位は平等になっていると思う町民の割合は23.2%で、総合計画基準値と比較し2.8ポイント向上しています。</p> <p>(原因) 全国的な男女平等の取組みが、社会全体において徐々に浸透していることが一因であると考えます。</p>						☀ (向上) 対前年度 ■ 目標達成度 (中)

基本事業のコスト(千円)

R03	R04
0	33

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
8,463	8,610

政策 09 予備費

施策の構成

政策を実現する手段

施策 09-09 予備費

施策を実現する手段

基本事業 09-09-99 予備費

施策を取り巻く環境変化と課題

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	--- (---)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	
重要度	--- (---)	--- (---)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 09 予備費

施策 09-09 予備費

施策のプロフィール

施策の対象

施策がめざす姿

施策の成果状況と評価

施策のコスト（千円）

R03	R04
0	0

政策 09 予備費

施策 09-09 予備費

基本事業 09-09-99 予備費

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R03	R04
0	0

令和5年度
行政評価諮問事務事業に係る答申書

令和5年12月
愛南町行政評価委員会

目 次

<u>1 審議経過</u>	3 ~ 4
(1) 評価した事務事業	3
(2) 評価の手順	3
(3) 会議の内容	4
<u>2 当委員会の評価</u>	5 ~ 11
(1) 評価の観点	5
(2) 評価の種別	5
(3) 評価の方法	5
(4) 評価の決定	6 ~ 11
<u>3 委員会委員名簿</u>	12

1 審議経過

(1) 評価した事務事業

次の事務事業について評価しました。

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	次世代につながる子ども・子育て支援の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業		放課後児童クラブ事業
			放課後図書クラブ事業
担当課			保健福祉課
1	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	生涯学習の充実
	基本計画	基本事業	青少年の健全育成
	事務事業		放課後子ども教室事業
	担当課		
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	循環型社会の形成
	基本計画	基本事業	ごみ処理体制の適正化
	事務事業		海岸漂着物等地域対策推進事業
	担当課		
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	雇用・人材確保の推進
	基本計画	基本事業	雇用の促進
	事務事業		就職支援センター運営事業
	担当課		
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	効果的・効率的な行財政運営の推進
	基本計画	基本事業	I C Tによる情報の適切な管理と利活用
	事務事業		地域情報通信基盤設備管理事業
	担当課		
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	学校教育の充実
	基本計画	基本事業	施策の総合推進
	事務事業		南宇和高等学校教育振興協議会補助事業
	担当課		

(2) 評価の手順

- ① 事務事業担当課による内部評価を経た事業マネジメントシート(事後評価)及び附属資料により事業説明を受け、質疑応答を行いました。
- ② 行政評価シート(本書巻末に【資料】として添付)により各委員の評価を取りまとめ意見集約を行い、討議の上、当委員会の評価を決定しました。

(3) 会議の内容

次の3回の会議を開催しました。

回数	日時・場所	主な審議内容
第1回	令和5年10月17日(火) 13:30~16:00 本庁 3階 大会議室	(1) 令和4年度行政評価事務事業について ① 諮問事務事業について ② 事務事業評価について ・事務事業担当課からの説明及び質疑応答 (2) 質問事項及び追加要求資料の確認
第2回	令和5年10月30日(月) 13:30~16:00 本庁 3階 大会議室	・行政評価シートの取りまとめについて ・事務事業の意見交換(各担当課)
第3回	令和5年11月21日(火) 13:30~15:30 本庁 3階 大会議室	・事務事業の評価の取りまとめ及び意見集約 ・事務事業の評価の決定 ・答申書(案)の確認
答申	令和5年12月6日(水) 町長室	・答申

2 当委員会の評価

(1) 評価の観点

次の観点により評価しました。

観点	意味
妥当性	・町としてすべき事業なのか
有効性	・事業を行うことで町にとって何らかの効果はあるのか
効率性	・今の方法が効率よく事業が行われているのか

(2) 評価の種別

次の種別により評価しました。

種別	意味	
維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
見直し	改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
休止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
廃止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

(3) 評価の方法

評価に当たっては、各委員による「(1) 評価の観点」の「妥当性」、「有効性」及び「効率性」の評価を集計し（8名の委員がそれぞれの項目に対して1票ずつ投票）、「意見・提言」とともに討議の参考としました。最終的に当委員会の評価は、「(2) 評価の種別」から選択し、また、それへの解説を加えて決定としました。

(4) 評価の決定

次のとおり当委員会の評価を決定しました。

① 評価の一覧

事業			評価の種別	
1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり	維持/このまま継続
		施策	次世代につながる子ども・子育て支援の充実	
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実	
	事務事業		放課後児童クラブ事業	
			放課後図書クラブ事業	
	担当課		保健福祉課	
	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり	
		施策	生涯学習の充実	
	基本計画	基本事業	青少年の健全育成	
	事務事業		放課後子ども教室事業	
担当課		生涯学習課		
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	維持/このまま継続
		施策	循環型社会の形成	
	基本計画	基本事業	ごみ処理体制の適正化	
	事務事業		海岸漂着物等地域対策推進事業	
担当課		環境衛生課		
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり	維持/このまま継続
		施策	雇用・人材確保の推進	
	基本計画	基本事業	雇用の促進	
	事務事業		就職支援センター運営事業	
担当課		商工観光課		
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり	維持/このまま継続
		施策	効果的・効率的な行財政運営の推進	
	基本計画	基本事業	I C Tによる情報の適切な管理と利活用	
	事務事業		地域情報通信基盤設備管理事業	
担当課		総務課		
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり	維持/このまま継続
		施策	学校教育の充実	
	基本計画	基本事業	施策の総合推進	
	事務事業		南宇和高等学校教育振興協議会補助事業	
担当課		学校教育課		

② 評価の詳細 (7 ~ 11 のとおり)

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業	放課後児童クラブ事業	
		放課後図書クラブ事業	
	担当課	保健福祉課	
	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	生涯学習の充実
	基本計画	基本事業	青少年の健全育成
	事務事業	放課後子ども教室事業	
担当課	生涯学習課		

1 評価の観点

項目	評価結果
妥当性	高い
有効性	高い
効率性	高い
総合評価	高い

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> 働く親にとっては、子どもの安全な見守りにも繋がっています。 家族（祖父母や親戚も含める）の負担軽減にもなっています。 放課後児童クラブがある3校と、その他の学校では子育て支援の格差を感じていたが、遠隔校にも徐々に放課後子ども教室が増え続け、夏休み子ども教室では開設から12年経った今は、総児童数は減っているにも関わらず定員数が30名へと増えており、時代に沿った子育て支援への保護者のニーズに対応しています。 夏休み子ども教室は、同級生がゼロまたは少ない複式学校の子どものために、夏休みだけでも大勢の友達と毎日一緒に学び遊べる体験ができ、交流を通じて子どもの人間性を高めることができ、とても有意義だと思います。開設以来長らく夏休み限定だが、春休みや冬休み開催の要望を毎年聞いています。いわゆる小1ギャップに不安を抱える保護者の為にも放課後児童クラブ同様に長期休みには安心して保護者が働けるように前向きに検討してもらいたいです。 少子化対策としても有効な手立てとしての各種子育て支援事業は、愛南町は現時点でもかなり充実していると感じています。子どもは地域の宝です。子育て世代はもちろんの事、移住を考えている家族にも愛南町の子育て支援の心意気が届くように、今後も引き続き保護者からのニーズに応じて、改善しながら子育て事業充実の継続を願います。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	子育てについては、少子化対策の一環として、社会全体で支援するべきと考えます。引き続き、きめ細かい対応をお願いします。また、春休みや冬休みの長期の休暇においても、安全・安心に保護者が預けられる拠点の充実に努めていただきたいと思います。

	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	循環型社会の形成
2	基本計画	基本事業	ごみ処理体制の適正化
	事務事業		海岸漂着物等地域対策推進事業
	担当課		環境衛生課

1 評価の観点

項目	評価結果
妥当性	高い
有効性	高い
効率性	高い
総合評価	高い

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内トップクラスと自負できる愛南町の綺麗な海は、長年に亘り恒例の各種ボランティアによる清掃活動により守られています。また最近では沿岸地域住民意識も益々高まっていると聞き素晴らしいと思います。地球温暖化による自然災害も年々増えているうえに、マイクロチップゴミも問題視されているので、この事業は海業を主体とする愛南町にとっては欠かせない大事な事業だと思います。 ・ 立ち入り困難地域漂着ゴミ対策など環境衛生課と水産課がタッグを組んで海岸漂着ゴミ問題に取り組んでいくことにより、成果が出ているのが良いです。 ・ 愛南の水産業の源は豊かな海であり、さらにその源は森林でもあります。そのためにも海や森林環境を維持することは必要です。 ・ 沿岸地域住民や漁業者等によるボランティアは、ありがたい存在だが、負担になりすぎないように気をつける必要があります。 ・ 異常気象による水害は毎年避けられない自然現象で、今後も漂着物のゴミは増えると予想されます。また、最近ではマイクロチップゴミも環境にかなりの悪影響があり問題視されています。この事業は主幹産業の大部分を占める漁業の町にとっては大切な事業であり、今後も継続して海洋環境保全に努めてもらいたいです。 ・ 海岸清掃に町民の参加を促すことにより人々の意識を高め、プラスチックの使用削減、リサイクル、廃棄物の適切な処理方法についての情報なども提供し、漂着物の発生を減らすことにつなげて頂きたいです。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持/このまま継続	近年の豪雨などの異常気象等により、海岸漂着ゴミの収集・処理が課題となっているため、この事業は継続していく必要があると考えます。また、活動ボランティアなどの参加を促すとともに、住民への環境問題への意識を高め、近年問題となっている、マイクロプラスチックを減らす取組など国・県との連携を強化し、海洋環境保全に努めていただきたいと思います。

3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	雇用・人材確保の推進
	基本計画	基本事業	雇用の促進
	事務事業		就職支援センター運営事業
	担当課		商工観光課

1 評価の観点

項目	評価結果
妥当性	高い
有効性	高い
効率性	どちらかと言えば高い
総合評価	高い

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・宇和島のハローワークと連携して庁舎内に就職支援センターを設置していることが有難いので、ぜひ継続してほしいです。 ・若者が定住するためにも働く場所の確保は必要と思います。 ・町内に働ける職場が少ないという実情もあろうかとも思いますが、「相談による就職者」もある程度の実績もあがっており、このまま継続すべきであると考えます。 ・地域内の企業や産業の求人情報を収集し、求職者とのマッチングを行うことで、雇用の機会を増やす事業なので続けて頂きたいです。 ・求人状況は好転し、また高齢者の雇用希望者は増えると思いますから、ニーズに合わせた支援や助言などを行うことにより再就職の機会を提供し地域の経済活動の活性化に繋げてほしいです。 ・町内の各福祉施設関連で、職員募集中のチラシを見ます。少子高齢化に拍車がかかる今後を見据え、高齢者が安心して暮らせる町として介護問題は深刻であります。そこで介護職に係わるセミナーの開催や、資格試験の補助を前向きに検討してほしいです。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	県下で唯一支援センターを設置している本町においては、町内で働ける情報や相談を個別に利用でき、雇用確保に繋がるため、引き続き本事業は必要であると考えます。求人情報の収集や求職者とのマッチングがスムーズに行えるよう工夫を重ねるとともに、就職によるUターンの増加を導く施策の検討をお願いします。

4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	効果的・効率的な行財政運営の推進
	基本計画	基本事業	I C Tによる情報の適切な管理と利活用
	事務事業		地域情報通信基盤設備管理事業
	担当課		総務課

1 評価の観点

項目	評価結果
妥当性	高い
有効性	どちらかと言えば高い
効率性	どちらかと言えば高い
総合評価	どちらかと言えば高い

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・次第に固定電話加入者は減少していくと思うが、インターネットやCATVなどの情報通信は安心安全な暮らしに欠かせないので、保守体制を継続して安定したサービスに努めてもらいたいです。 ・ドコモなどのケイタイ電話会社のホームWi-Fiなど工事を必要としないサービスがあるが、防災無線など町民にとっては必要な情報提供の手段なので、必要な事業だと思います。 ・災害管理と防災活動において不可欠なもので、公共サービスの提供や効率的な運営に役立ち効果的なサービスの提供を行うことができる地域情報基盤は、公衆衛生や福祉の向上にも寄与し、社会に不可欠な要素となっています。 ・設備の不具合や故障発生時には迅速な対応がとれるように、安定あるサービスの保持が必要不可欠なので、適正な運用や維持管理を願います。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持/このまま継続	災害管理と防災活動においても必要不可欠であるため、本事業は有効と考えます。しかし、通信基盤整備後、10年以上経過している為、不具合発生時の取扱い方法など周知徹底して、保守体制の確立に努めていただきたいです。

5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	学校教育の充実
	基本計画	基本事業	施策の総合推進
	事務事業		南宇和高等学校教育振興協議会補助事業
	担当課		学校教育課

1 評価の観点

項目	評価結果
妥当性	高い
有効性	どちらかと言えば高い
効率性	どちらかと言えば高い
総合評価	どちらかと言えば高い

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数減少やクラス減が顕著な中でも、ここ数年間の南宇和高校生徒の活躍ぶりを目にすることが増えてきたように感じています。この補助を受けた各種多様な活動には多くの生徒が参加していて、コロナ禍を経た今年は早くもその参加人数が増加しているので今後も期待したいです。 ・町内唯一の歴史ある南宇和高校も少子化でここ数年は存続の危機にあります。それでも地元にある高校があるメリットは大きく、協議会の補助によるさまざまな活動が南宇和高校の魅力に結びついているように感じます。 ・学校は、多くの学生と一緒に学び、共同生活をする場ですが、特に最近、ボランティア活動などを通じて、多様な経験をしてコミュニケーションスキルや協力意識、リーダーシップといったソーシャルスキルを育んでいるように感じています。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	町内唯一である歴史ある南宇和高校を存続させることは、地域の活性化にも大きく寄与し、本事業は有効であると考えます。協議会の多種多様な活動を体験することは、生徒一人ひとりの能力向上を促します。また、このことがふるさとへの愛着心を育み、今後地元での就職やUターンでの人口増に繋がることを期待します。

3 委員会委員名簿

番号	職務	氏名	住所
1	委員長	砂田 陽子	愛南町御荘長月
2	副委員長	大西 浩樹	愛南町一本松
3	委員	兵頭 堅次	愛南町須ノ川
4	委員	益田 貴之	愛南町城辺甲
5	委員	渡邊 千寿	愛南町蓮乗寺
6	委員	高橋 一見	愛南町柏崎
7	委員	山川 美和	愛南町福浦
8	委員	松本 正子	愛南町上大道

【資料】

行政評価シート

基本構想	政策	
	施策	
基本計画	基本事業	
事務事業		
担当課		

1 妥当性

・町としてすべき事業なのか

<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い <input type="checkbox"/> 低い
コメント

2 有効性

・事業を行うことで町にとって何らかの効果はあるのか

<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い <input type="checkbox"/> 低い
コメント

3 効率性

・今の方法が効率よく事業が行われているのか

<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い <input type="checkbox"/> 低い
コメント

4 意見・提言

--

5 評価

1 維持	<input type="checkbox"/> このまま継続
2 見直し	<input type="checkbox"/> (1) 改善 <input type="checkbox"/> (2) 拡充 <input type="checkbox"/> (3) 縮小 <input type="checkbox"/> (4) 事業統合
3 休止	<input type="checkbox"/> 休止
4 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止

* 評価の種別については裏面を参照

評価の種別		評価の意味
1 維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
2 見直し	(1) 改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	(2) 拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	(3) 縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	(4) 事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
3 休止	休止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
4 廃止	廃止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

令和5年度行政評価(令和4年度実施事務事業)答申反映の方向性
(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))

1/3

答申事務事業	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	次世代につながる子ども・子育て支援の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業	放課後児童クラブ事業	
		放課後図書クラブ事業	
	担当課	保健福祉課	
	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	生涯学習の充実
	基本計画	基本事業	青少年の健全育成
	事務事業	放課後子ども教室事業	
担当課	生涯学習課		
1 行政評価委員会の評価	評価の種別		解説
	維持/このまま継続		子育てについては、少子化対策の一環として、社会全体で支援するべきと考えます。引き続き、きめ細かい対応をお願いします。また、春休みや冬休みの長期の休暇においても、安全・安心に保護者が預けられる拠点の充実に努めていただきたいと思います。
町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))		
	<p>放課後児童クラブ事業及び図書クラブ事業については、現状を維持しつつ保護者のニーズ把握に努め、必要に応じて改善を行っていきます。また、御荘夢創造館エリアを活用した、新たな子どもの居場所づくりも計画しており、更なる子ども・子育て支援を進めて参ります。</p> <p>放課後子ども教室事業については、保護者の就労機会の確保や家族の負担軽減を図るため、「放課後子ども塾」と「夏休み子ども教室」を実施しています。ご意見の春休み・冬休みの対応については、保護者の要望や意見等を聴きながら検討していきます。</p>		

令和5年度行政評価(令和4年度実施事務事業)答申反映の方向性
(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))

2/3

2	答申事務事業	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
			施策	循環型社会の形成
		基本計画	基本事業	ごみ処理体制の適正化
		事務事業		海岸漂着物等地域対策推進事業
	担当課		環境衛生課	
行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
	維持/このまま継続		近年の豪雨などの異常気象等により、海岸漂着ゴミの収集・処理が課題となっているため、この事業は継続していく必要があると考えます。また、活動ボランティアなどの参加を促すとともに、住民への環境問題への意識を高め、近年問題となっている、マイクロプラスチックを減らす取組など国・県との連携を強化し、海洋環境保全に努めていただきたいと思います。	
町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
	答申のとおり反映していきます。			

3	答申事務事業	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
			施策	雇用・人材確保の推進
		基本計画	基本事業	雇用の促進
		事務事業		就職支援センター運営事業
	担当課		商工観光課	
行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
	維持/このまま継続		県下で唯一支援センターを設置している本町においては、町内で働ける情報や相談を個別に利用でき、雇用確保に繋がるため、引き続き本事業は必要であると考えます。求人情報の収集や求職者とのマッチングがスムーズに行えるよう工夫を重ねるとともに、就職によるUターンの増加を導く施策の検討をお願いします。	
町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
	答申のとおり事業を維持し、継続します。			

令和5年度行政評価(令和4年度実施事務事業)答申反映の方向性
(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))

3/3

4	答申事務事業	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
			施策	効果的・効率的な行財政運営の推進
		基本計画	基本事業	ICTによる情報の適切な管理と利活用
		事務事業		地域情報通信基盤設備管理事業
		担当課		総務課
行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
	維持/このまま継続		<p>災害管理と防災活動においても必要不可欠であるため、本事業は有効と考えます。しかし、通信基盤整備後、10年以上経過している為、不具合発生時の取扱い方法など周知徹底して、保守体制の確立に努めていただきます。</p>	
町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
	答申のとおり反映していきます。			

5	答申事務事業	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
			施策	学校教育の充実
		基本計画	基本事業	施策の総合推進
		事務事業		南宇和高等学校教育振興協議会補助事業
		担当課		学校教育課
行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
	維持/このまま継続		<p>町内唯一である歴史ある南宇和高校を存続させることは、地域の活性化にも大きく寄与し、本事業は有効であると考えます。協議会の多種多様な活動を体験することは、生徒一人ひとりの能力向上を促します。また、このことがふるさとへの愛着心を育み、今後地元での就職やUターンでの人口増に繋がることを期待します。</p>	
町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
	答申のとおり反映していきます。			